

建産連NEWS

KENSANREN NEWS

No. **169**
2021/07

卒業設計コンクール展受賞作品



▲埼玉県知事賞



▲埼玉建築設計監理協会賞

2 巻頭言

換気確保の重要性と改正建築物省エネ法の対応／一般社団法人 埼玉建築士会会長

3 行政情報

建設工事の品質確保・向上を目指して ～不可視部分のより良い施工管理 パート5～

9 県内プロジェクト紹介

利根川水系忍川における浸水対策重点地域緊急事業について

告知版

16 1. 埼玉県建築物耐震改修促進計画の改定について

18 2. 埼玉県の中小企業者等向け補助事業（二次募集）についての御案内

担い手確保・育成コーナー

19 1. 第21回 卒業設計コンクール展 開催

25 2. ものづくり大学卒業生の就職動向について

27 3. 工業高校卒業生の就職動向について

29 4. ワンポイント講座1 工事成績評点のポイントアップ

ワンポイント講座2 埼玉県総合評価方式 新たに「ICT活用工事」を評価します！

32 5. 講習会案内

33 県内経済の動き

公共工事前払金保証統計から見た県内の公共工事等の動き（令和2年度）

38 会員だより／連合会日誌

39 総会の結果について

42 編集後記



換気確保の重要性と 改正建築物省エネ法の対応

一般社団法人 埼玉建築士会
会長 江口 満 志

一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会の皆さまには、日頃より埼玉建築士会の活動につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症によって我々を取り巻く環境が一変してしまい、各団体におかれましても大きな影響が出てしまった事と存じます。内閣府では、新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3密(密閉・密集・密接)の環境で感染リスクが高まり、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要と注意喚起しています。十分な換気を行うことが有効な対策の一つで、特に建物側でできる有効な対策として、適切な換気量の確保が重要となります。

私も日本建築士会連合会のコロナ対策特別委員会の一員に召集され、密室空間を避けるために目視または実測により換気の状態を把握し店舗・事業所等におけるウイルス感染の可能性をなるべく減らすために、密閉空間の

換気改善を事業者の皆様へアドバイスすることを目的に「換気の状態、確認します！ 密閉空間を避けるための換気アドバイス」を取りまとめました。換気の悪い密閉空間となっていないかについて適切なアドバイスを行える建築士を養成することを目的に、日本建築士会連合会のホームページでオンライン講習会が開催されております。30分程の無料講習となっておりますので是非ご受講ください。

また、環境問題の取り組みで第2弾の改正建築物省エネ法では、戸建て住宅等における建築主への説明義務化や中規模のオフィスビル等の建築物の適合義務制度の対象への追加等の措置の対応が必要となっております。

終わりに、令和2年3月1日施行の改正建築士法、自然災害への対応、空き家対策問題などやるべき事は沢山ありますが、建産連会員の皆様並びにご家族の皆様方のご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃ご支援ご協力をいただいている関係行政、関係諸団体の皆様にお礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

建設工事の品質確保・向上を目指して 不可視部分のより良い施工管理 パート5

埼玉県総合技術センター

建設工事は、いわゆる「一品(単品)受注生産」であり、たとえ工場製作であっても、あらかじめ品質が保証されているものではありません。とりわけ公共工事においては、県民の安心安全な生活を支える社会資本として、数十年もの長期にわたる耐久性や信頼性など、優れた品質の確保が求められます。

また、優れた品質を確保するためには、目に見える出来栄はもちろんのこと、完成後に見えなくなってしまう「不可視部分」を確実に施工し、その記録を正確に残すことが極めて重要となります。

このため、当センターでは埼玉県建設工事検査要綱に基づき、完成検査時や中間検査時に

において、不可視部分を重点的に検査しています。また、請負代金額が1億円以上かつ工期が6か月以上の工事については、原則、複数回の中間検査の実施に加え、中間検査に伴う成績評定も実施しています。

特に「不可視部分」の検査時に見受けられた事例については、これまで本誌同月号において「不可視部分のより良い施工管理」と題してシリーズ化し、紹介してきました。

本稿では、令和2年度における建設工事検査の実施状況等とともに、施工管理のポイントを分かりやすく解説した「不可視部分のより良い施工管理」“パート5”を紹介しますので参考にしてください。

1. 建設工事検査の実施状況

令和2年度に総合技術センターの工事検査員が実施した検査件数は、次のとおりです。

■建設工事検査実施状況（総合技術センターの工事検査員実施分）

検査員区分	中間	完成	計(件)
土木	430	468	898
森づくり	43	35	78
農村整備	94	71	165
建築	117	130	247
設備	221	243	464
計	905	947	1,852

注：工事検査員は兼務検査員を含みます。（部分払検査は中間に含む）

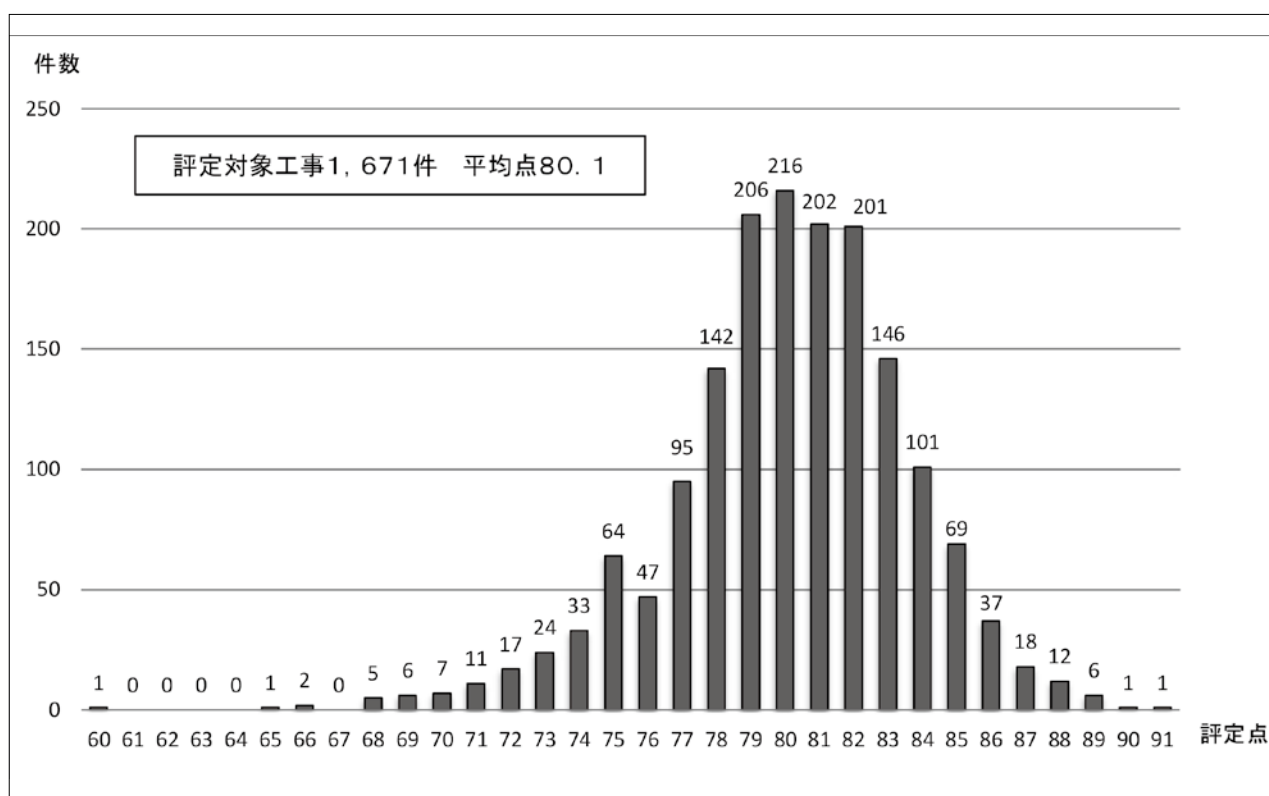
2. 工事成績の平均評定点

埼玉県発注の建設工事のうち、評定対象工事の平均評定点は以下のとおりです。

■ 埼玉県発注の評定対象工事(令和2年度完成工事)

業種	評定対象工事件数	平均評定点
土木	646	80.9
建築	123	79.7
とび	87	79.5
電気	160	79.4
管	122	79.8
鋼構造	17	81.1
舗装	284	80.5
塗装	25	77.3
機械	91	78.1
造園	23	78.1
水道	6	79.7
その他(上記以外)	87	78.7
計	1,671	80.1

※埼玉県による集計(令和3年6月15日現在)



3. 主な工種における不可視部分のより良い施工管理のポイント

不可視部分は中間検査や監督員による段階確認で確認していますが、完成検査時には目視できなため適切に施工されていることが写真や書類で明確に確認できなければなりません。

適切に施工されていることがしっかり確認できるように、写真や書類を整備しておくことが成績評定点のアップにつながります。

①事前調査・配合試験

改良対象土を採取し、改良材の選定及び配合試験の結果による改良材の必要添加量の設定について確認します。



供試体作成



一軸圧縮強度試験

②キャリブレーション

施工機械、施工設備が所定の出来形・品質を確保できる形状・計器になっているか確認します。(攪拌軸全長、攪拌翼径寸法、プラント計量器、流量計、深度計、回転数)



攪拌翼径寸法



プラント計量器

ここでは、工事検査員が検査を実施してきた工事の中から皆様に注意していただきたい工種について、施工管理のポイントを紹介します。

1) 土木工事

【固結工】

固結工は、施工箇所が均一に改良されているとともに、所定の出来形や強度を有していることが必要です。

このため、検査時に以下の項目について写真や書類で確認できるようにお願いします。

③出来形管理

基準高、位置・間隔、杭径、深度が土木工事施工管理基準の規格値を満足しているか確認します。



基準高



間隔



杭径



深度計

④品質管理

改良材の比重・噴出量、改良体全長の連続性、一軸圧縮強度試験の結果が設計強度以上であるか確認します。



改良体の連続性



一軸圧縮強度試験

2) 建築工事

【左官工事】(仕上塗材の出来栄向上)

外壁などの仕上塗材は、下塗り、主材塗り、上塗り等の工程があり、工法や所要量、塗り回数などが決められています。特に、主材塗りは基層塗りと模様(玉模様など)塗りがあり、それら主材の層の施工が重要で出来栄に大きく影響します。よって、仕上塗材が同色(特に白色)の場合、基層塗り後の模様塗りの際、吹

付け量や模様の良し悪し等がわかりづらく吹きムラや模様のばらつきが生じることがあります。そのような箇所は、塗膜の耐久性が低下し、下地に対する保護効果も低減する恐れがあります。

写真は、基層塗りに着色材を混合して、うすいピンク色にしたことにより、模様(玉模様)塗り(白色)が均一に仕上げられ、上塗り前に吹き損じ等の確認ができた事例です。



基層塗り(着色材を混合)



模様塗り前確認



模様塗り後(仕上げ確認)

【外壁改修工事(タイル張り仕上げ)】

【タイル剥落に対するアンカーピン等の試験】

外壁の浮き部改修は、浮き部の状況から工法選定を行い、それにより使用するアンカーピンの本数や注入する樹脂の充填量などが変わってきます。そして、施工の確認は打診や目視で行います。また、タイルが張られている既存のコンクリート躯体に問題ないこと(爆裂等が

なくアンカーピンで固定できるか)を確認する必要があります。

写真(左側)は「既存コンクリート躯体に対するアンカーピンの強度」を【アンカーピン引抜強度試験】により、写真(右側)は「タイルが剥落する恐れがないこと」を【タイルの引張試験(アンカーピンのみで固定※1)】によりそれぞれ確認した事例です。



アンカーピン引抜強度試験
(メーカー規格値 1,500N/本以上)



タイルの引張試験(アンカーピンのみ)
(参考:設計強度 0.4N/m㎡)

※1 当該工事は、「注入口付アンカーピンングエポキシ樹脂注入タイル固定工法」(タイル張りの浮き部分に特殊ドリルを使い、タイル中央に穿孔し直接注入口付アンカーピンを打ち込み、注入用エポキシ樹脂を注入してタイルを固定する工法)を実施

3) 設備工事

【電気設備工事】

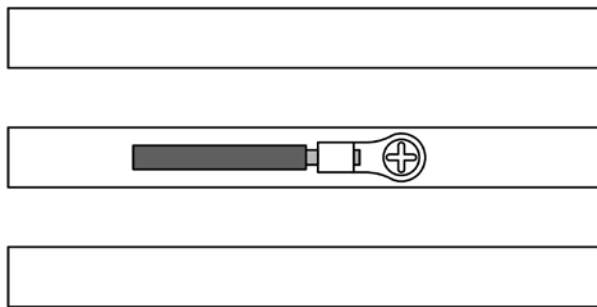
①電灯分電盤に配線用遮断器を増設する場合に母線(銅帯)から分岐します。母線に対して直角に圧着端子を取り付けると絶縁キャップが抜け母線間の短絡や絶縁離隔(10mm)が保てな



①母線と直角に接続した状況

くなりません。

②圧着端子を母線と並行になるように接続することで、母線間の短絡の防止と絶縁離隔を保つことができます。なお、圧着端子を曲げることは望ましくありません。どうしても曲げる場合は「90度曲げ端子」を使用します。



②母線と並行に接続

【機械設備工事】

①屋内機ドレン排水の通水試験の状況です。排水状況を観察して漏れや異常がないことを

確認してください。通水試験に農業用の散布機等を利用すると通水量を確認しながら検査することが出来ます。



①空調ドレン排水通水試験(例)

利根川水系忍川における 浸水対策重点地域緊急事業について

県土整備部 河川砂防課

1 はじめに

令和元年東日本台風(10月12日、13日)によって、埼玉県内で甚大な被害が発生したことは記憶に新しい。特に県西部地域を流れる越辺川において、堤防が決壊し高齢者福祉施設が洪水の中に取り残された映像は多くのメディアで報道されました。一方で、埼玉県北部を流れる忍川でも行田市内で甚大な被害が生じました。

忍川は、埼玉県熊谷市にその源を発し、途中酒巻導水路に合流し、元荒川50.1km付近の左岸に合流する埼玉県管理の全長11.52kmの一級河川です。忍川流域は、熊谷扇状地からの伏流



図1. 忍川位置図(着色部は行田市)

水や、古くからの水田地帯としての用水が数多く流れ、水の豊かな地域です。

ここでは、一級河川忍川流域における浸水被害軽減を目的として、埼玉県・行田市が協働で取り組んでいる「浸水対策重点地域緊急事業」について紹介します。

2 令和元年東日本台風の被害

令和元年東日本台風では、県内アメダス14観測所のうち、11観測所において日降雨量が観測史上1位を更新し、県内で過去に被害が生じた主要な洪水と肩を並べる降雨をもたらし

ました。(図2、表1参照)埼玉県の河川管理施設に関しては、都幾川等の堤防の決壊2箇所を含む164箇所で護岸の崩落等が発生しました。また、浸水被害では県内全域で床上浸水2,089棟、床下浸水3,371棟が発生しました。

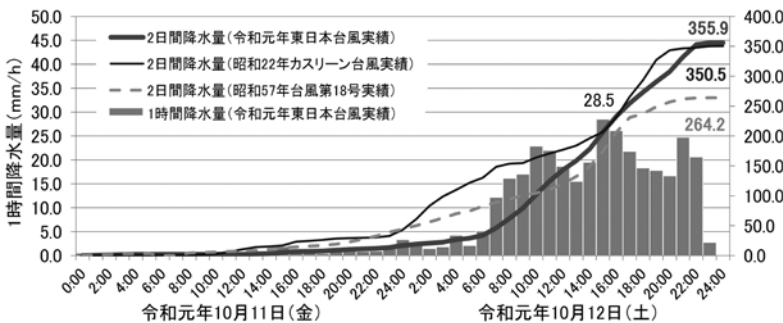


図2. 過去の主要出水との比較

※出典：各種降雨データより県が算定(雨量は県全域の平均)

表1. 県内14観測所の降水量

観測所	さいたま	越谷	所沢	飯能	ときがわ	鳩山	久喜
3日間降水量(mm)	299	228.5	362.5	408.5	604.5	324	230.5
日降水量(mm)	288	222	342	387	572	312	226.5
最大1時間降水量(mm)	59	31	50	38	46.5	31	30
観測所	鴻巣	熊谷	寄居	秩父	上吉田	浦山	三峰
3日間降水量(mm)	196	256.5	488	545.5	463	687	593.5
日降水量(mm)	190.5	250	471	511	434	635	549
最大1時間降水量(mm)	17.5	24.5	48.5	46	36.5	59	44

※出典：気象庁データから埼玉県作成

※太字は観測史上1位を記録した日降雨量

忍川中流部の行田市市内では、忍川からの溢水により床上浸水55戸、床下浸水194戸、合

計249戸の甚大な被害が発生しました。(浸水エリアは図3参照、浸水状況は写真1、2参照)

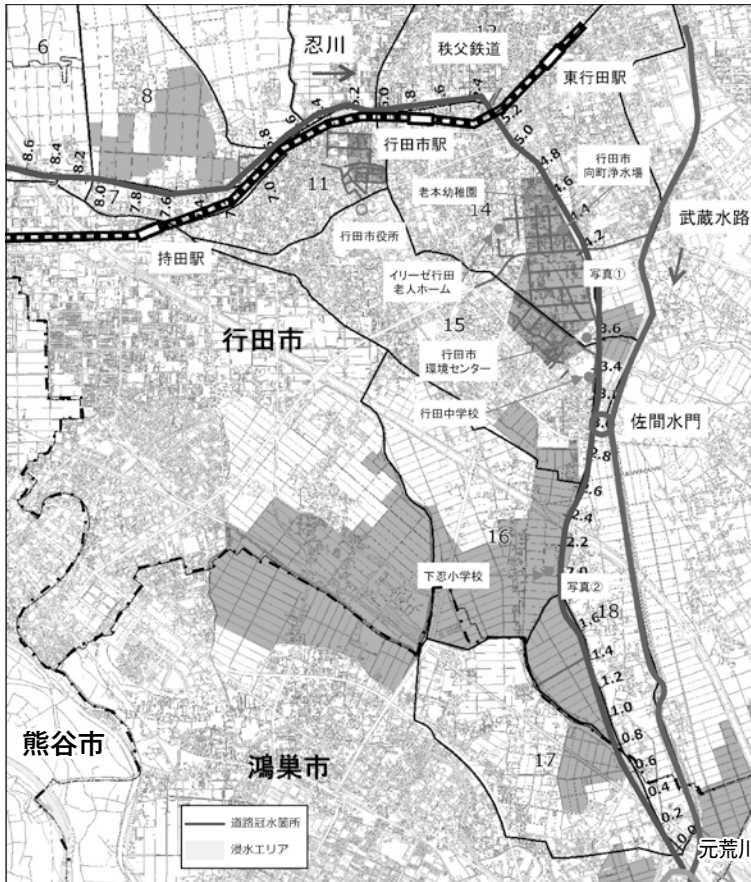


図3. 令和元年東日本台風時の浸水被害状況図



写真1. 浸水被害状況 (緑町地区)

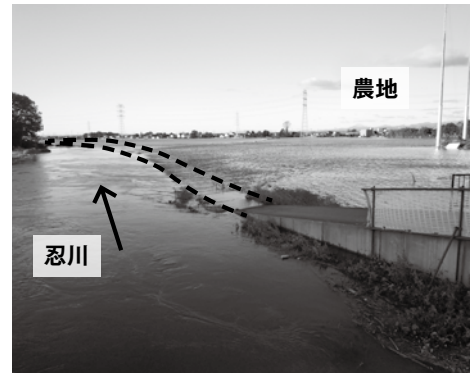


写真2. 浸水被害状況 (下忍地区)

通常の洪水の場合、忍川の洪水は佐間水門が開門することで、武蔵水路へ排出されます。その後、武蔵水路を経て糠田排水機場から荒川へ排出されます。

しかし、同台風の降雨により荒川の水位が上昇したことで、糠田排水機場が稼働停止。これに伴い、武蔵水路で忍川の洪水を受け入れられなくなったため、佐間水門が閉門されました。さらに、佐間水門閉門後、忍川の洪水が佐間水門下流へ流れたことで、忍川の水位が上昇したことにより溢水し、甚大な被害が行田市内に生じたと考えられます。(図4参照)

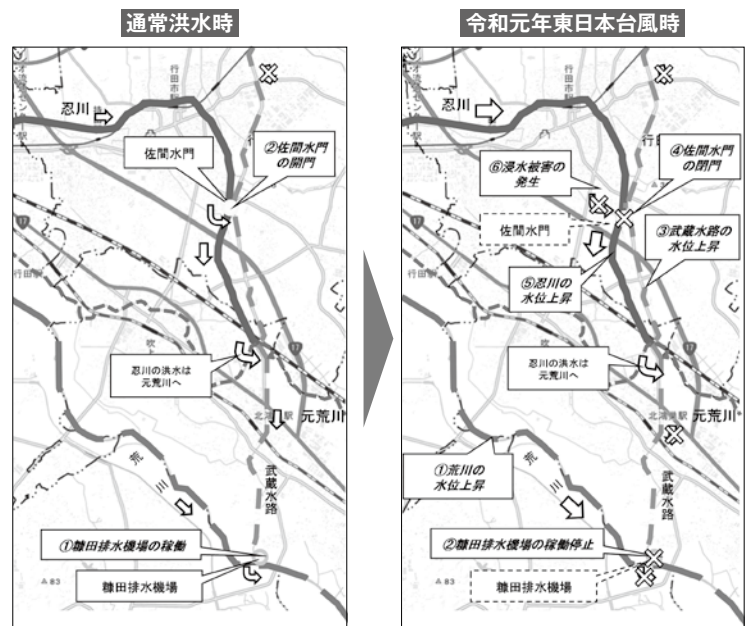


図4. 令和元年東日本台風時の水門等稼働状況

3 令和元年東日本台風後の対応

「浸水対策重点地域緊急対策事業」に先立ち、まず埼玉県・行田市が緊急的に行った取り組みについて紹介します。

埼玉県では、令和元年度から令和2年度にかけて、忍川の河道内に堆積した土砂の撤去や河道内に繁茂する樹木等を伐採することで、水位低下を図るとともに河道の流下能力を最大限確保できるよう施工を行いました。(図5参照)

また、図3のとおり、佐間水門上流では左岸側に比べ右岸側で浸水被害が多く生じています。現地調査の結果、右岸側の堤防は一部周囲に比

べ低くなっている箇所があることがわかり、堤防の高さを確保するよう堤防強化を実施しました。(図6参照)

行田市では、浸水対策重点地域緊急対策事業の新規採択に向けて、国に対し、令和2年11月には直接面会、さらに令和3年3月にはオンラインにより、計2度の要望活動を実施しました(写真3参照)。これらの熱心な要望活動もあり、全国でもわずか16地域(令和元年5地域、令和2年7地域、令和3年4地域)しか採択実績のない取り組みである「浸水対策重点地域緊急事業」の新規採択を受けることが出来ました。



図5 樹木伐採・土砂撤去状況(施工前後)



図6 堤防補強状況(施工前後)

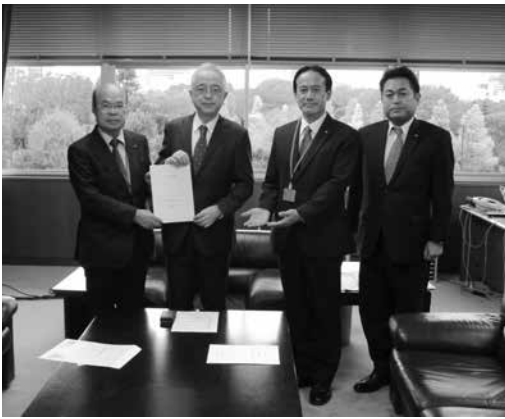


写真3. 行田市による要望活動の様子(左:1回目直接面会、右:2回目オンライン)

4 浸水対策重点地域緊急事業の取り組み内容について

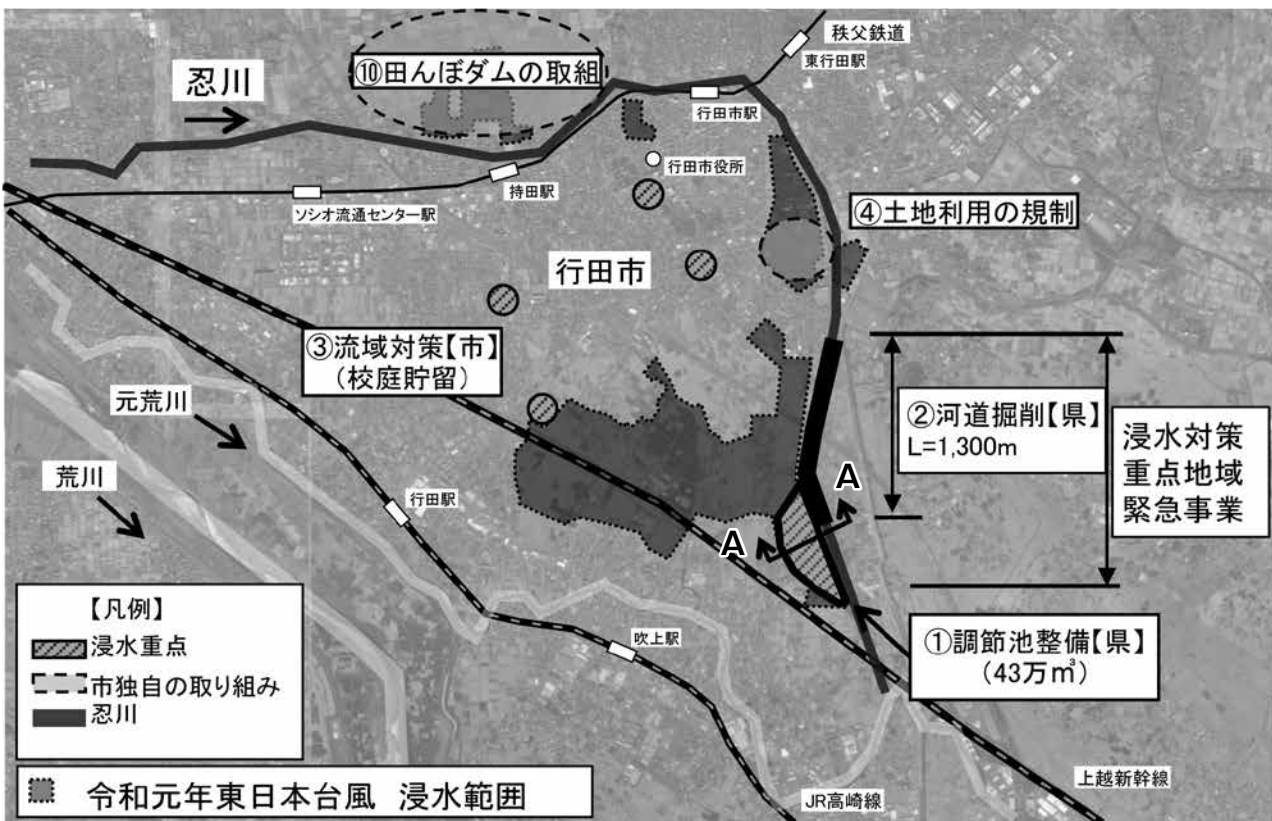


図7. 浸水対策重点地域緊急事業全体図

浸水対策重点地域緊急事業とは、中小河川の氾濫によって深刻な影響が生じた地域において、早期に再度災害の防止等を図ることを目的に、ハード・ソフト一体となった計画に対し、国が防災・安全交付金で集中的に支援する事業制度です。これを受け、忍川の浸水対策重点地域緊急事業として次の事業メニューを位置付けました。このうち、河道の整備等、ソフト対策及び

その他の取り組みに分けて、下線を引いた主要な事業メニューについて後に紹介していきます。(事業メニューの全体は図7参照)

<河道の整備等>

- ①河道の整備
- ②下忍調節池の整備
- ③流域貯留施設の整備(校庭貯留)

<ソフト対策>

- ④土地利用の規制
- ⑤忍川へ監視カメラの設置
- ⑥令和元年東日本台風を教訓とした避難所開設訓練の実施
- ⑦令和元年東日本台風で被害が生じた向町、緑町、佐間地区においてマイタイムラインを作成
- ⑧避難情報等電話配信サービスの導入や防災行政無線音声確認サービス回線の増設など、災害情報伝達の強化



写真4. 現在の河道の状況

<その他の取り組み>

- ⑨下忍調節池の底面利用による維持管理コストの削減
- ⑩忍川上流部で田んぼダムの取り組み
- ①河道の整備は、交付金により県が実施する事業内容です。佐間水門直下流から下忍調節池付近までの約1,300m区間にかけて、河道幅を現況の約20mから約29mに拡幅します。令和3年度は、護岸の詳細設計を実施するとともに用地測量を実施、令和4年度以降に用地買収を行う予定です。(現地状況は写真4参照、整備断面は図8参照)

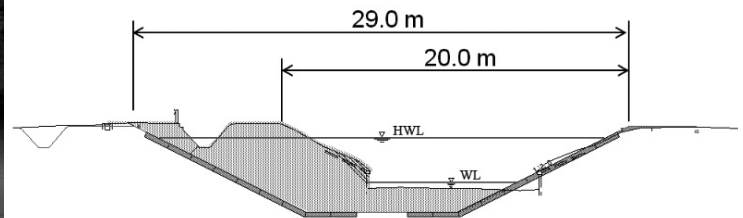


図8. 整備断面図(イメージ図)

- ②下忍調節池の整備は、交付金により県が実施する事業内容です。下忍調節池の調節容量は43万 m^3 であり、行田市が底面利用に向けた



写真5. 下忍調節池整備箇所現地状況

検討を行っています。令和3年度は、河道整備と同様に、調節池の詳細設計を実施するとともに用地測量を実施します。河道の整備に先行して工事に着手するため、早期の用地買収完了に向けた地元調整を重ねています。(現地状況は写真5参照、整備断面は図9参照)



図9. 下忍調節池整備断面図(イメージ)

③流域貯留施設の整備(校庭貯留)は、交付金により行田市が実施する事業内容です。行田市内の市立小学校4校(中央小、南小、西小、泉小)に降った雨を各小学校の校庭で一時的に貯留できるよう整備するものです。校庭内に雨水を貯留できるように、校庭の周囲に盛

土や嵩上げを行うことで周囲堤を整備し、放流口(オリフィス)を小さい穴にすることで、流末の忍川への流入量を制限します。(校庭貯留の実例は写真6参照、校庭貯留の整備イメージは図10参照)



写真6. 校庭貯留実例

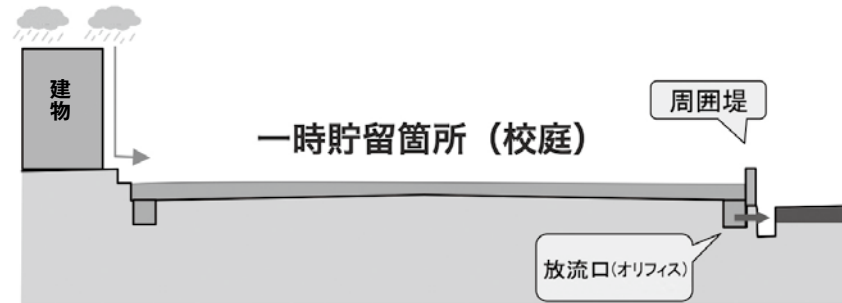


図10. 校庭貯留整備イメージ図

④土地利用規制は、行田市独自で行う事業内容です。行田市開発許可等の基準に関する条例により設定した「都市計画法第34条第11号の規定により指定する土地」(H15.12)について、令和元年東日本台風により当区域においても甚大な浸水被害が発生したため、浸水リスクの高いエリアについては、指定解除を行うことにより、住家等の新規立地の抑制等を図っていきます。

⑩忍川上流部で田んぼダムの取り組みを行います。この取り組みは行田市全体で約109万㎡、うち忍川流域で約29万㎡を計画しています。田んぼの排水施設にエルボ等を取りつけることで、田んぼからの排水量を抑制させることにより、雨水を貯留する機能を持たせます。令和2年7月、農地の有効活用を目的に農家や自治会などで構成する「多目的機能支払交付金活動組織」において、本取り組みに概ね合意を得ています。(田んぼダムの整備イメージは図11参照)



図11. 田んぼダム整備イメージ図

5

浸水対策重点地域緊急事業の 効果について

堤防強化、河道整備及び調節池整備を行った場合の家屋浸水被害戸数と、令和元年東日本台風の家屋浸水被害戸数と比較すると、整備前は床上浸水55戸、床下浸水194戸であるのに対し、整備後は床上浸水0戸、床下浸水43戸になると効果を見込んでいます。当該事業では、さらに行田市による校庭貯留や田んぼダムの取り組みが加わるため、より一層の効果発現が期待できます。

6

おわりに

令和3年度は調節池や河道の詳細設計を実施します。また、用地測量に際し、地元の公民館

において、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、オープンハウス形式※で地元説明会を5月に実施したところです。（地元説明会の様子は写真7参照）。今後は、河道の拡幅に伴い架替えを要する橋りょうの詳細設計や事業用地の用地取得を進めていきます。

当事業は、地域の皆様の御理解と御協力が不可欠です。コロナ禍ではありますが、更なる浸水対策重点地域緊急事業PRなどの情報発信に努めるとともに、国の『防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策』などを活用し、早期に忍川流域全体の治水安全度の向上が図られるよう埼玉県と行田市で協力して取り組んでいきます。

※オープンハウス形式とは、説明パネル等の展示と併せ、担当者が参加者の質問等に対して適切に説明するとともに、参加者の意見等を伺う形式

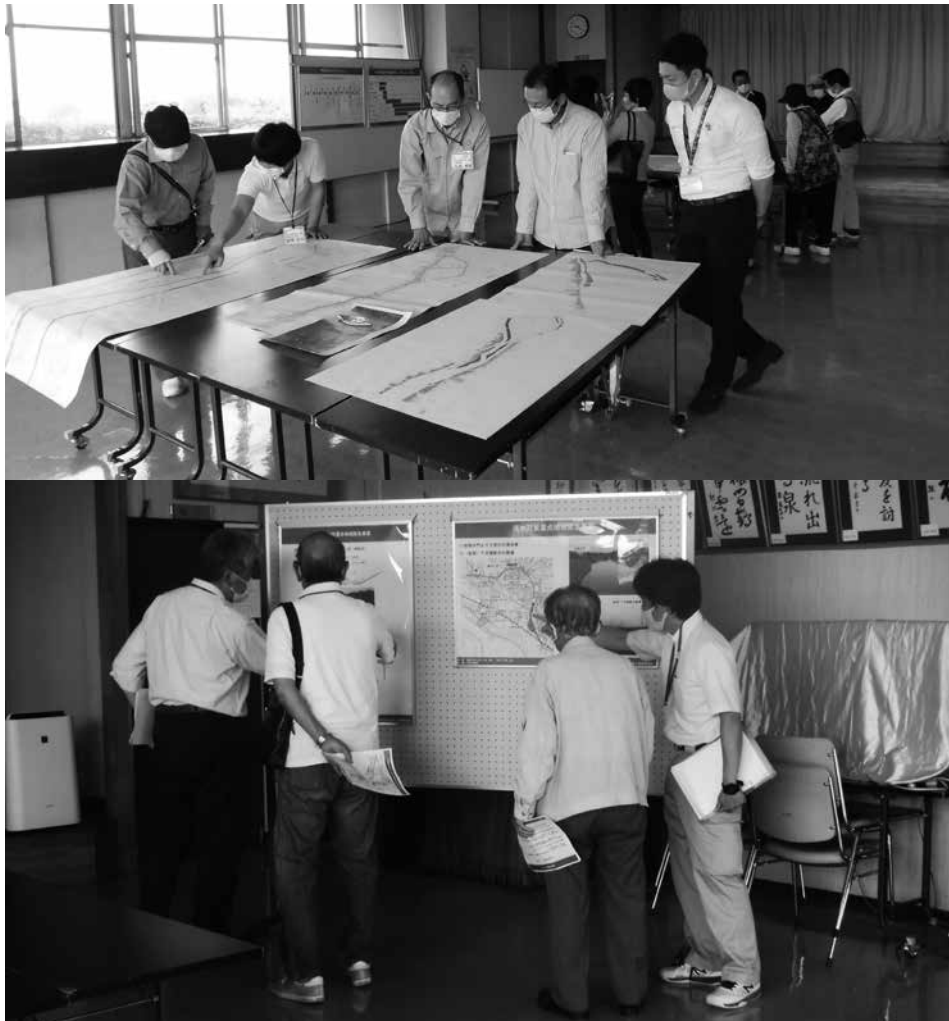


写真7. 地元説明会の様子（オープンハウス形式）

埼玉県建築物耐震改修促進計画の改定について

埼玉県都市整備部 建築安全課

はじめに

平成18年1月26日に改正施行された建築物の耐震改修の促進に関する法律（以下「耐震改修促進法」という。）では、建築物の地震に対する安全性の確保と向上を図ることが、所有者の努力義務とされるとともに、建築物の耐震診断及び耐震改修を促進するための計画を国の基本方針に基づき定めることが、都道府県の責務として位置付けられました。

これを受け、埼玉県では、耐震改修促進法第4条（国の基本方針）に基づき、同法第5条（都道府県耐震改修促進計画）の規定により『埼玉県建築物耐震改修促進計画』を平成18年3月に策定しました。

当該計画は安全・安心な都市づくりを促進するため、旧耐震基準（昭和56年5月31日以前の耐震基準）で建築された建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進し、地震発生時の被害を軽減することを目的としています。

その後、平成27年の改定、令和元年度の一部改定を経て、令和7年度を計画終期とする新たな耐震化の目標等を設定した計画を令和3年3月に改定しました。

主な改定内容

（1）計画期間

改定前：平成28年度～令和2年度

改定後：令和3年度～令和7年度

（2）計画目標

対象建築物	実績 令和元年度	目標 令和2年度	改定後の目標 令和7年度
住宅	93.2%	95%	95%
耐震診断義務化建築物 ^{※1}	94.2% ^{※2}	—	おおむね解消 ^{※3}
多数の者が利用する建築物	県有	—	—
	国・市町村有	97.6%	100%
	民間	94.0%	95%

※1 「多数の者が利用する建築物のうち特に大規模な建築物」及び「九都県市で連携して耐震化を促進する路線を閉塞するおそれのある建築物」

※2 対象は旧耐震基準の建築物

※3 対象は令和3年4月1日時点で耐震性が不十分な建築物

（3）対象建築物

住宅と多数の者が利用する建築物に加え、耐震化の促進がより重要となる耐震診断義務化建築物を目標設定の対象建築物に加えしました。

耐震化の促進に向けた 今後の取組方針

住宅及び建築物の耐震化を促進するためには、その所有者等が震災対策を自らの問題として認識し、自らの責任において取り組むこ

とが不可欠です。

このことから、所有者の耐震化に対する意識啓発や、耐震化を実施する際に要する費用などの負担軽減は大変重要となってきます。

そこで、県及び市町村は耐震化目標達成に向け、以下のような施策に取り組んでいきます。

〈目標〉

国と同様に定める目標

住宅
95%

耐震診断義務化建築物

おおむね解消

県独自に定める目標

多数の者が利用する建築物

公共：100%
民間：おおむね解消

〈施策〉

住宅の耐震化の促進

- 補助制度
- 相談窓口の設置及び情報提供
- リーフレット等による啓発

緊急輸送道路沿道建築物の耐震化

- ・補助制度
- ・特に重要となる路線の指定
- ・要安全確認計画記載建築物への対応

多数の者が利用する建築物の耐震化の促進

- ・補助制度
- ・耐震サポーター登録制度
- ・金融機関による融資支援
- ・相談窓口の設置及び情報提供
- ・計画認定
- ・耐震認定マーク表示制度
- ・公共建築物への対応

その他の安全対策

- ・エレベーター等の地震対策
- ・窓ガラス、外壁等の落下防止及び天井の脱落防止対策
- ・ブロック塀の安全対策
- ・新耐震基準の木造住宅への対応
- ・家具の転倒防止対策
- ・防災マニュアルブック
- ・地震保険の加入促進 など

改定した計画の入手方法

埼玉県のホームページから入手できます。

URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/a1106/sokusinkeikaku.html>

問合せ先

埼玉県都市整備部建築安全課 震災対策・構造指導担当

TEL **048-830-5525** (直通)

【告知版②】

埼玉県の中小企業者等向け補助事業 (二次募集)についての御案内

埼玉県 環境部 温暖化対策課

CO₂排出削減設備導入補助金 (暑さ対策設備等導入事業)

民間事業者が県内事業所において実施する、屋根の断熱塗装、窓の複層化などの建物の断熱・遮熱対策に必要な設備等導入について、その費用の一部を県が補助する事業です。

[申請受付期間]

令和3年6月10日(木)から令和3年9月10日(金)まで 《必着・厳守》

[対象箇所]

事業所の屋根上(屋上)、外壁、窓 ※内壁や屋根裏は対象外

[対象事業例]

屋根/外壁：遮熱塗装、遮熱シート取付け、断熱材の取付け(カバー工法)
窓：遮熱フィルムの貼付け、既存窓をLow-Eガラス窓へ交換 等

[補助金額] 上限額300万円・補助率1/3

[URL]

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/atsusa.html>

CO₂排出削減設備導入補助金 (スマート省エネ技術導入補助事業)

エネルギーマネジメントシステム(EMS)やIoT等を活用したスマート省エネ技術の導入について、その費用の一部を県が補助する事業です。

工場・事業所の設備の稼働状況の見える化、運用改善等による省エネ対策にぜひ御活用ください。

[申請受付期間]

令和3年6月10日(木)から令和3年9月10日(金)まで 《必着・厳守》

[補助金額] 上限額1,000万円・補助率1/3

[URL]

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/smart-hojo.html>

CO₂排出削減設備導入補助金 (大規模事業所向け)

民間事業者が県内事業所において実施するCO₂排出量の削減に資する設備導入について、その費用の一部を県が補助する事業です。

※なお、CO₂排出削減設備導入補助事業(中小規模事業所向け)の募集は終了しております。

[申請受付期間]

令和3年6月10日(木)から令和3年9月10日(金)まで 《必着・厳守》

[対象事業所]

大規模事業所(年間エネルギー使用量が原油換算値で3か年度連続1500kL以上)

[対象事業例]

高効率空調への更新、ボイラーの燃料転換、太陽光発電設備の導入(全量売電を除く)等

[補助金額]

上限額1,000万円・補助率1/3(照明設備は750万円・1/4)

[URL]

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/daikibosien.html>

★その他に、環境みらい資金融資や無料省エネ診断なども実施しています。

埼玉県で実施する中小企業者向け省エネ支援制度については下記HPを参照してください。

[URL]

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/tyusho-shien.html>

建築系学生奨励事業 第21回 卒業設計コンクール展 開催

一般社団法人 埼玉建築設計監理協会

埼玉建築設計監理協会の法人化30周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されています。

例年、作品を展示し公開審査を行ってありますが、コロナウイルス感染対策として、本年はオンライン開催とし公開Web審査を行うこ

といたしました。8大学36名の力作が応募され、6月1日の第1次審査で10作品を選考、6月27日の第2審査(オンラインプレゼンテーション)がWeb投票で行われました。

今後、埼玉県知事賞、準埼玉賞受賞の作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。

□開催主旨

昨今の都市計画や建築デザインに於いても、ICT革命時代にふさわしい斬新な発想が求められています。そのような中、新しい世紀の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取した意欲ある作品を募集し、若い学生達の考える創造価値と熱意を奨励します。
特に、当協会としては、「埼玉」を分析し、再構築を試みることにより街づくりの活性化を図り、地域を変える起爆剤となるような夢溢れる作品を待っています。

□テーマ、募集作品

- (1) 埼玉をテーマとした作品(埼玉県知事賞対象候補)
- (2) 自由作品

上記の分類による都市や建築デザインをテーマとした個人作品の卒業設計を対象とします。

□受賞者および作品

- 埼玉県知事賞 1作品…3.(1)の作品の中で最も優れた作品(副賞として海外研修旅行目録・30万円相当)
- 準埼玉賞 1作品…3.(1)の作品の中で優れた作品(副賞として5万円相当の目録)
- 埼玉建築設計監理協会賞 1作品…募集作品の中で最も優れた作品(埼玉県知事賞受賞作品を除く) 副賞として海外研修旅行目録・20万円相当)
- 準埼玉建築設計監理協会賞 1作品…募集作品の中で優れた作品(埼玉県知事賞受賞作品を除く) 副賞として5万円相当の目録

<全作品対象>

- 特別審査員賞 3作品…各大学の先生による審査とします(副賞として3万円相当の目録)
- 埼玉県住宅供給公社賞 1作品…まちづくりを題材とした作品(副賞として3万円相当の目録)
- さいたま住宅検査センター賞 2作品…住宅を題材とした優れた作品(副賞として5万円相当の目録)
- JIA埼玉賞 3作品…優秀な提案、建築家に相応しい作品(卒業設計を行った年度の大学学科の所在地が埼玉県内である応募者の中で優れた作品は本人の意思の確認の上、JIA主催全国学生卒業設計コンクールに3作品程度推薦します。)
JIA埼玉賞はJIA埼玉会員が独自に選出し、1次審査を書類選考、2次審査をオンラインによるプレゼンテーションにより選考いたします。

総合資格学院賞 2作品…社会に飛び出す若駒のエネルギー溢る作品(副賞として5万円相当の目録)

日建学院賞 2作品…来場者の投票により選ばれた作品(副賞として5万円相当の目録)

奨励賞 適宜

- 審査員 作品出展校から各学部の先生1名、埼玉県(1名)、さいたま市(1名)、大手建設業(1名)
(一社)日本建築学会関東支部埼玉支所(1名)、(一社)埼玉建築士会(1名)、(一社)埼玉県建築士事務所協会(1名)、(公社)日本建築家協会埼玉地域会(JIA埼玉)(1名)
(一社)埼玉県建設産業団体連合会(1名)、埼玉県住宅供給公社(1名)
(一財)さいたま住宅検査センター(1名)、当協会賛助会員(1名)、当協会会員より数名

- 主催 (一社)埼玉建築設計監理協会
- 共催 (一社)日本建築学会関東支部埼玉支所、(一社)埼玉建築士会、(一社)埼玉県建築士事務所協会
(公社)日本建築家協会埼玉地域会(JIA埼玉)、(一社)埼玉県建設産業団体連合会
埼玉県住宅供給公社、(一財)さいたま住宅検査センター
- 協賛 (一社)埼玉県建設業協会、(一財)埼玉建築安全協会、総合資格学院、日建学院
- 後援 埼玉県、さいたま市、テレビ埼玉



スクリーンに投影された作品を審査する先生方



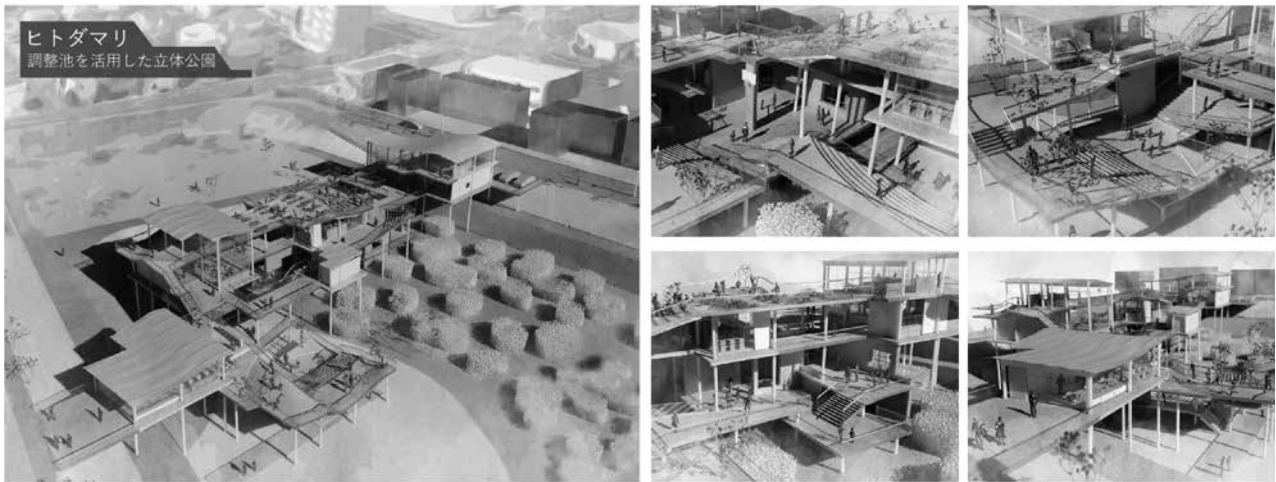
オンラインプレゼンテーションに参加した皆さん

埼玉県知事賞

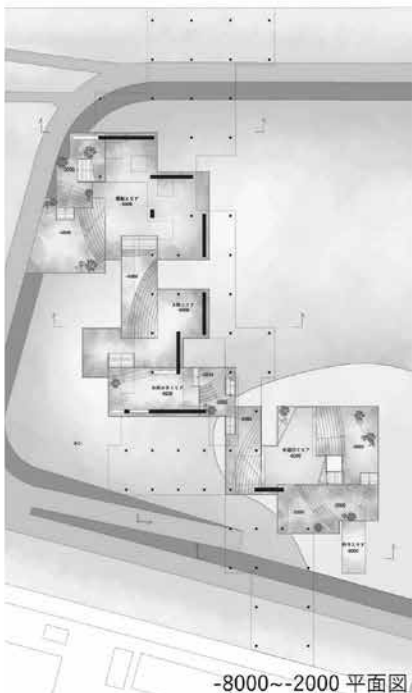
日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 神谷 政光
ヒトダマリ 調整池を活用した立体公園

埼玉県三郷市では、水害対策として調整池の整備が進められてきたが、調整池は災害時に機能する一方、平常時には街に大きな空白を生んでいる。本計画では栄調整池を対象とし、近隣住民の利用を想定した立体公園を提案する。

栄調整池は第二大場川、小学校、保育園、住宅地と隣接している。断面的に見ると地面より-4mのレベルに多目的広場があり、-8mのレベルが底部となる。地面より上のレベルには図書館、自習室、工作室、カフェ、キッチン、畑を設けた。地面より下のレベルには様々なレベルのスラブを設け、変形させたり壁面との組み合わせで活動の幅を広げている。調整池を日常的に利用することで、災害に対する意識を持ちながら交流が生まれる。



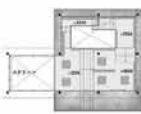
各階平面図



-8000~-2000 平面図



1F 平面図

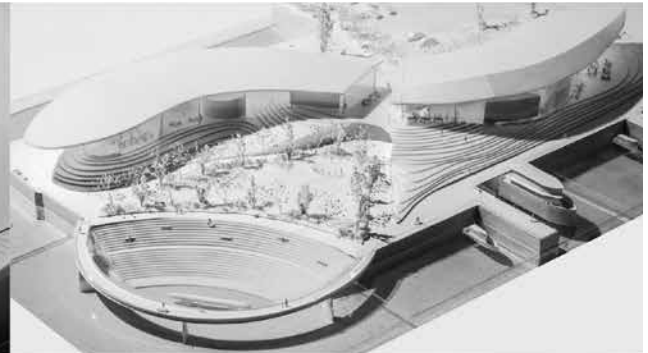
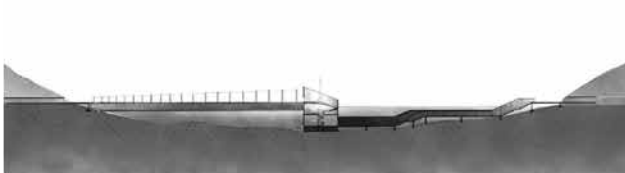
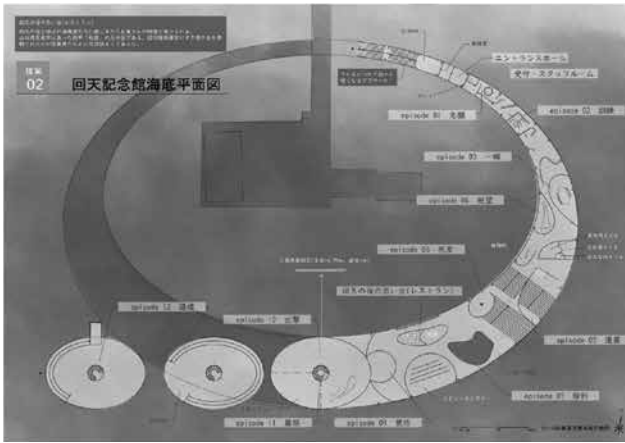
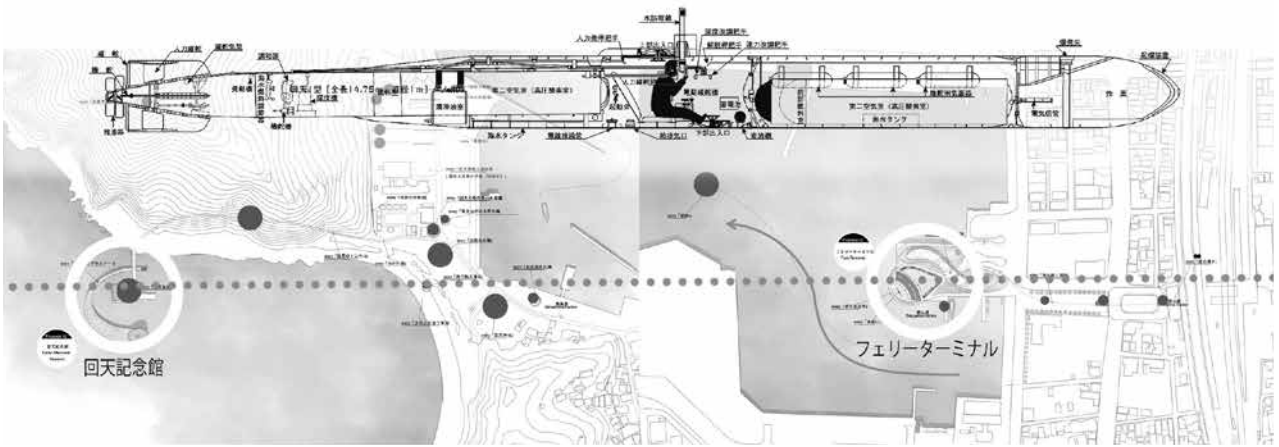


2F 平面図



山口県周南市大津島。ここにはかつて太平洋戦争末期に日本海軍の特攻兵器の1つである人間魚雷「回天」の訓練基地が設置された。しかし戦後75年を迎え、戦争の記憶は風化の一途をたどっている。そこで私は人間魚雷回天と出会い、回天搭乗員の想いを知り、記憶を継承していくストーリーを構築する。提案としては、11の感情空間を巡る回天記念館とそこへ導くためのフェリーターミナルを設計し、人間魚雷回天を巡るストーリーを作った。

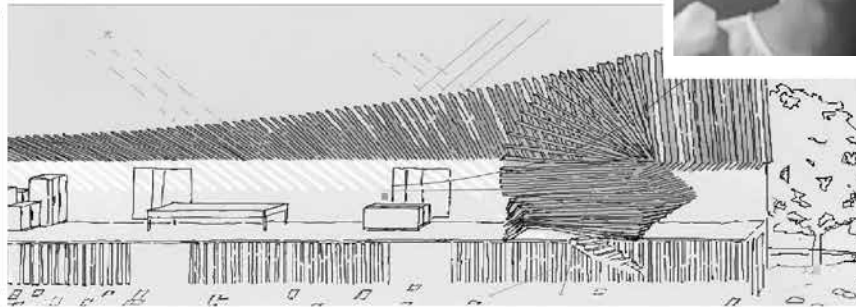
設計の概要としてはフェリーターミナルは道の駅、市民交流館が併設された複合施設であり、その敷地内には潮の満ち引きと共に見え隠れする人間魚雷「回天」を設置する。人々と人間魚雷「回天」との出会いの場だ。また、回天記念館には4つの特徴がある。①海底に沈む記念館②搭乗員の気持ちを疑似体験する11の感情空間(展示計画)③亡くなった搭乗員を表す106本の石柱④搭乗員の生死の境目を表す記憶の塔。記憶を継承することで二度と同じ過ちを繰り返さないことを願って。



準埼玉賞

日本大学生産工学部建築工学科 荻野 汐香
新菓子屋横丁徒弟制

菓子屋が立ち並び多くの人々で賑わう菓子屋横町。しかし、菓子職人の減少や継承者不足から、本来の“菓子屋横丁らしさ”が薄れてしまった。それに伴い菓子屋横丁に訪れた人々の行動も食べ歩きに限定されてしまっている。菓子屋横丁の根源である徒弟制に着目し、再定義し空間に落とし込む。そして、菓子屋横丁で実際に働いている人々・地域住民にアンケートをとり、菓子屋横丁がどのような空間であるべきか再確認し、パターン化してしまった人々の行動と空間に奥行きを与える。



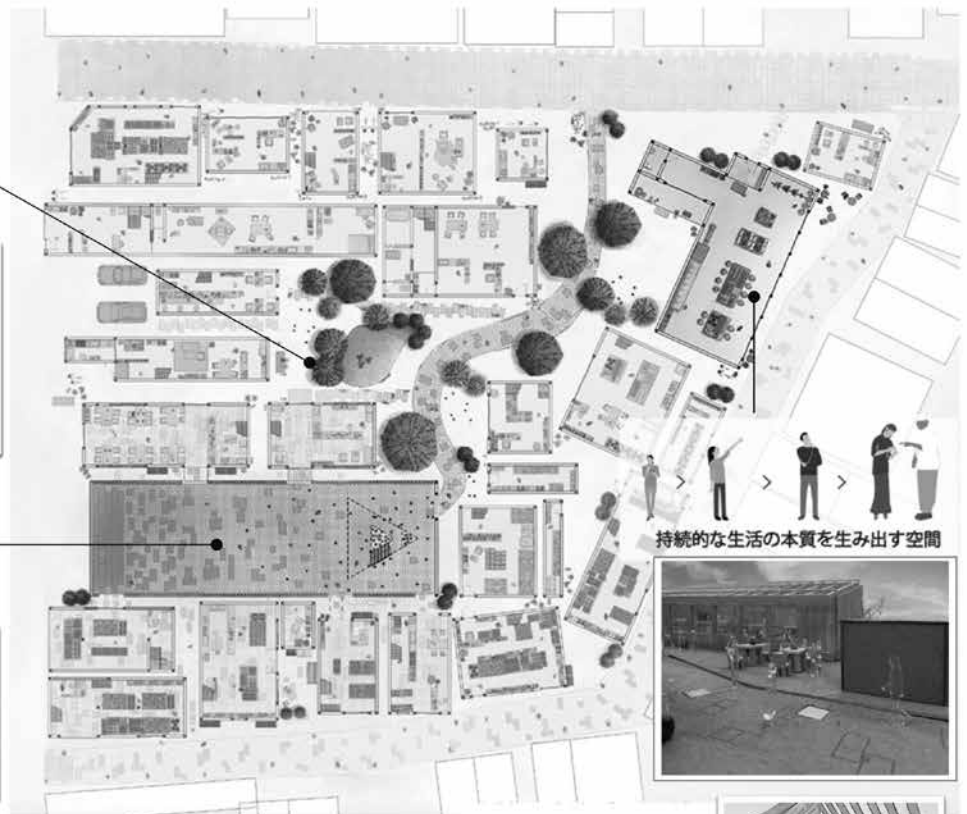
今後
違う環境下同士の弟子が1つの空間で学ぶことで技術や伝統の継承のみならず多様なコミュニティが形成される。



気持ちに余白を与える空間



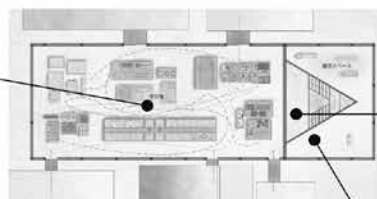
古さと新しさを調和する空間



持続的な生活の本質を生み出す空間



持続的な生活の本質を生み出す空間



伝統と創造から導かれる空間



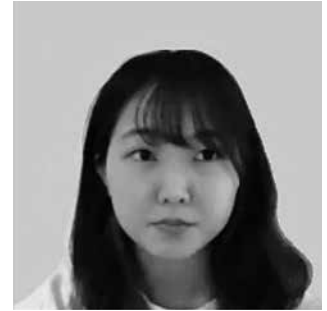
幼心を奮い起こす空間



火災により一つとなって再出発した商店街は、四方を壁に囲まれ、隣に居るはずの隣人が見えない。「もっけみち」では時間の流れの中から生まれ紡ぎ出されてきた生活と、生活そのものを未来に繋ぐ居場所が相互に浸透する。

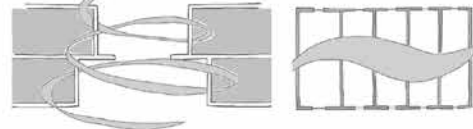
住人達が作った既存の躯体に、二重屋根をかけることで換気の機能を付加し、生活できる環境を作る。これにより住人達が作り上げた環境での記憶を残しつつ、止まったままの生活景が再び動き出す。

二重屋根の下で生活の中にふとお互いの存在や想いを感じながら商売し、「もっけ」の気持ちを思い出す。



05. もっけみち | 浸透する道

店舗と店舗の間にある壁を一部取り除き
隣どうしを繋ぐ一本の道（もっけみち）を作る。

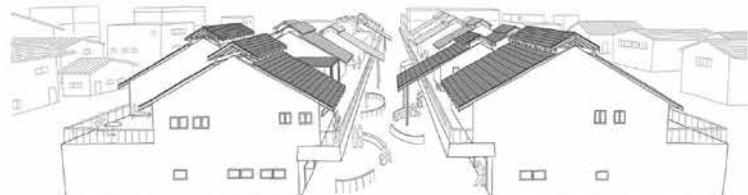
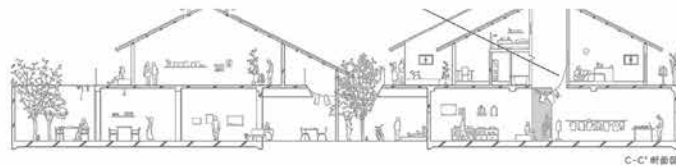
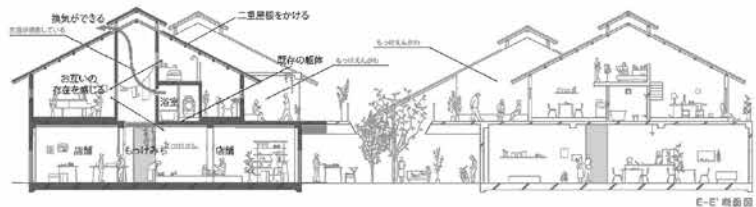


「行ったことのないお店に気軽に入れない…」
「歩いているだけでわくわくする商店街にしたい」

07. 平面図 | 1階



07. 平面図 | 2階



卒業設計コンクール参加者一覧

埼玉県をテーマにした作品

1	染野 奈菜	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	まげこげ保健室 〜ケアからひろがる地域の居場所〜	
2	富永野乃花	日本大学 生産工学部建築工学科	展開	
3	清水 海斗	東洋大学 理工学部建築学科	市役所の再編成 -地域密着型市役所-	総合資格学院賞
4	神谷 政光	日本工業大学 工学部生活環境デザイン学科	ヒトダマリ 調整池を活用した立体公園	埼玉県知事賞
5	荻野 汐香	日本大学 生産工学部建築工学科	新築子屋横丁徒弟制	準埼玉賞
6	細谷 奈央	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	新たな文化を継承していく "がーでんストリート" -商店街を核とした大宮一番街の再生デザイン-	特別審査員賞 さいたま住宅検査センター賞
7	向井 菜朝	工学院大学 建築学部建築デザイン学科	空き家にならない家を目指して	さいたま住宅検査センター賞
8	川邊 高大	日本工業大学 工学部建築学科	フラワーヒル・結の街 活動と人が染み出る住宅地へ	
9	橋本 佳奈子	日本大学 生産工学部建築工学科	つながり保育 -高架下利用の提案-	
10	星野 大貴	東洋大学 理工学部建築学科	URAWA Art colony 〜芸術と文化の発信地〜	
11	坪倉 尚矢	日本工業大学 工学部建築学科	10平方メートルからはじめる町おこし 駐車スペース跡でつくる趣味の溢れ出した住宅地の通り	日建学院賞
12	田島 悠斗	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	異文化共生 -「外国人」から「〇〇さん」へ-	
13	島田 崇弘	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	Minimal street housing 淡りゆくアドレスホッパーの暮らし -埼玉県行田市の足袋蔵工リア改修計画-	

自由作品

14	外山 真永	工学院大学 建築学部建築デザイン学科	生きられた集住体を目指して -大規模住宅団地改修計画案-	埼玉県住宅供給公社賞
15	劉 文彪 (小池 明)	東洋大学 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科	隣社	
16	川口 郁也	東京電機大学 理工学部建築都市環境学系	これからの働く場所 -再び目指す、自立型衛星都市-	
17	小松崎 楓	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	向こう三軒両隣の再編不安の共有による新たなつながり-	
18	喜多 秀長	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	「己の空間」の形成 -折り紙建築をベースとした小空間の展開-	JIA埼玉優秀賞
19	岡本 衛	東京電機大学 未来科学部建築学科	FoIPod	
20	鶴巻 愛瑠	日本大学 生産工学部建築工学科	もっけみち、みっけ。 -商店街に没頭し、息づく暮らし。-	埼玉建築設計監理協会賞
21	廣木 千咲子	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	巡る通学路 -子供の居場所づくりの物語-	
22	川上 芳輝	東洋大学 理工学部建築学科	企業城下町再編計画 -まちと企業の接点のデザイン-	
23	亀井 礎	東京電機大学 未来科学部建築学科	交わる伝統 -桐生市の織物産業を再発信する提案-	
24	福村 玲奈	東京理科大学 理工学部建築学科	本でうまれる -本で生まれる出会いと本で埋まれる建築-	
25	磯永 涼香	東洋大学 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科	記憶の欠片をそとすく -人間魚雷「回天」の歴史を巡る出会いと別れの島-	埼玉建築設計監理協会賞
26	井上 了太	日本大学 生産工学部建築工学科	有終の壘	特別審査員賞
27	和賀 一弥	日本工業大学 工学部建築学科	渋谷建築・都市文化アーカイブ 都市における自由な居場所の継承	
28	米ケ田 里奈	東京電機大学 未来科学部建築学科	誰かの靴を履いてみる -児童養護施設と新小岩ルミエール商店街によるまち計画	
29	近藤 巨	東洋大学 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科	串う大地 -人と地をつなぐ舞祭場-	JIA埼玉優秀賞
30	舘洞 遼人	日本工業大学 工学部建築学科	記憶と出会いの思いが継がれる -鎌ヶ崎津波避難-	
31	白澤 賢	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	Symbiosis -猫と暮らすシェアハウス-	日建学院賞
32	古岡 ひなの	東京電機大学 未来科学部建築学科	LINK -社会の裏側に張り巡らされる秘密基地空間-	
33	葛西 由樹	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	Re : Life -廃校活用による保護動物の殺処分問題の解決-	総合資格学院賞
34	小宮 莉奈	日本大学 生産工学部建築工学科	きづく -流れる音楽、彷徨う私、見つける物語。-	
35	牧野 なな子	日本工業大学 工学部生活環境デザイン学科	つながるバス停 -地域を映す寄り処-	特別審査員賞 JIA埼玉最優秀賞
36	小池 健蔵	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	Catharsis 〜渴望する地域交流拠点〜	

1 大学の概要

本学は2001年4月に開学し、2020年に開学20周年を迎えた工科系単科大学です。1学部(技能工芸学部)2学科(総合機械学科、建設学科)から成り、現在1,200人強の学生が在籍しています。また、開学以来平均96%の就職率を達成し、多くの卒業生を実践力も兼ね備えた技術者として産業界に送り出しています。

学生は北海道から九州・沖縄まで全国各地から集まっていますが、出身地別にみると、関東が約80%を占め、次いで甲信越・北陸、東北がそれぞれ約5%となっています。なお、埼玉県出身者が30%強を占めています。

授業は6割以上が実技・実習などで占められており、実務経験豊富な教授陣と各界一流の技術者が指導を行っています。理論と実技を融合したカリキュラムと徹底した少人数実践教育で、社会で即戦力となる実力を身につけた人材の育成に努めています。

本学の特徴である実働40日間(6月中旬から8月中旬)のインターンシップは2年次に授業の一環として、総合機械学科では企業等の生産現場での実務を体験し、また建設学科では建設現場での補助的な業務・作業などを体験しています。その他、4年次には、就職を念頭においたインターンシップが用意されており、自分が学んでいる分野に沿った企業で専門性の高い実務を経験することができます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりインターンシップを中止しました。今年度は、昨年中止となった学年(3年生)が夏休み期間に、2年生が6月中旬から8月中旬までのインターンシップを実施することとなっています。

2 就職の動向

(1) 2021年3月卒業生の動向

2021年3月卒業生は、就職活動に関するルールが廃止されたことにより、会社説明会や面接などの時期が早期化し、内定時期も早まると言われていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020年4月に緊急事態宣言が発出されたことにより、会社説明会や採用選考等が中止・延期となるなど企業の活動が一時的に停止してしまいました。また、学生も外出自粛などの影響により活動が制限されました。その後、企業の採用活動が再開されたものの、Webによる面接等の選考が多くなり、学生の就職活動に大きな影響が生じました。その結果、内定取得時期が例年より遅れるなどの影響が出ましたが、最終的には前年を上回る就職率となりました。

2021年3月卒業生の就職率は98.5%で、そのうち、埼玉県内への就職率は27.5%となっています。学科別にみると、製造学科95.5%(埼玉県内26.6%)、建設

学科100% (同27.9%)となっています。
(表1)

	2020年度 卒業生数(人)	民間就職 希望者数(人)	民間企業 就職者数(人)	民間企業 就職率(%)
製造学科	76	67	64	95.5%
建設学科	152	136	136	100.0%
合計	228	203	200	98.5%
2019年度 (第16期生)	198	188	182	96.8%
2018年度 (第15期生)	237	221	217	98.2%
2017年度 (第14期生)	216	196	192	98.0%
2016年度 (第13期生)	194	181	178	98.3%

表1. 2016年度以降の就職率の変遷

2021年3月卒業者の就職先業種をみると、製造学科卒業者では、図1に示す通り、「金属製品」(27.3%)、「設計・運輸等」(13.6%)、「自動車・造船」(12.1%)、「一般機械」(10.6%)、「電気・電子」(7.6%)、「化学・プラスチック」(4.5%)の順となっています。

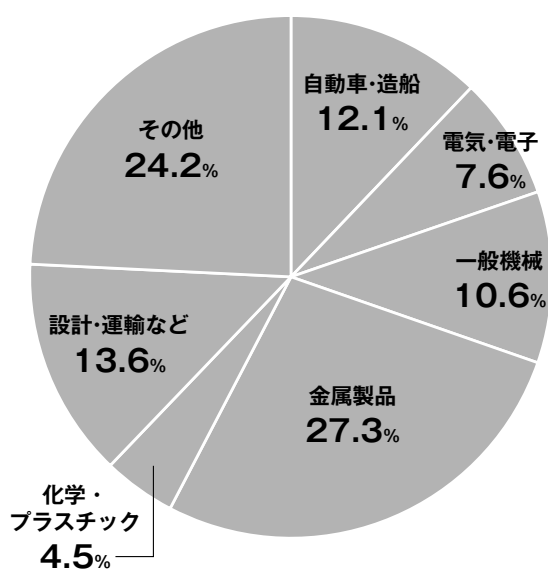


図1. 製造学科の就職先区分

また、建設学科卒業者では、図2に示す通り、「総合建設」(28.5%)、「建築・住宅」(27.1%)、「専門工事」(15.3%)、「設計・不動産等」(12.5%)、「各種製造」(6.9%)、「土木・造園」(6.3%)、

「土木・造園」(6.3%)、の順となっています。

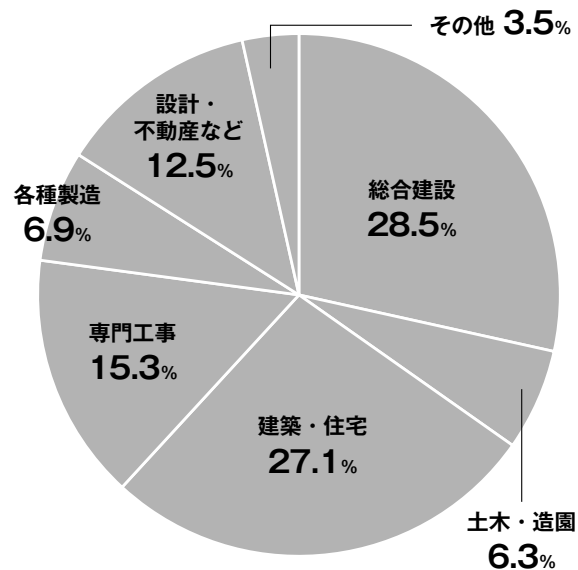


図2. 建設学科の就職先区分

(2) 2022年3月卒業予定者(現4年生)の動向

現在、2022年3月卒業予定者(現4年生)が就職活動に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いています。昨年と比べ企業の採用活動は早期化し、活発になっています。会社説明会や面接等の選考については、昨年は多くの企業でWeb方式による選考を行っていましたが、今年はWeb方式と対面方式を併用する企業が多く見受けられ、学生は直接企業の方と接する機会が増えています。

学生の多くは本学にいただいた求人の中から、会社説明会や現場見学会に参加して企業情報の収集等に努めているとともに、面接などの採用選考に取り組んでいます。企業の採用・選考時期が昨年より早期化していることから、学生の就職に向けた活動も早い段階から本格化してきています。

大学として多くの企業との面談を通して企業の採用情報等を収集し、その情報を学生に提供することで、学生が早期に内定を取得できるように就職支援の強化を図っていきます。

工業高校卒業生の就職動向について

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課
産業教育・キャリア教育担当 指導主事 大橋 亨

1 埼玉県の県立工業高校について

本県では県立工業高校を15校設置しています。(図1)

各工業高校で設置している学科は異なり、1学科に対する生徒定員は、40人又は80人となっています。(図2)

建設関係の学科は、6校(いずみ、大宮工業、川越工業、春日部工業、熊谷工業、浦和工業)で生徒定員は320人です。県内の工業高校の令和2年度就職希望者数は1,477人(令和3年4月埼玉県教育委員会調べ)です。



図1. 埼玉県内の県立工業高校の配置

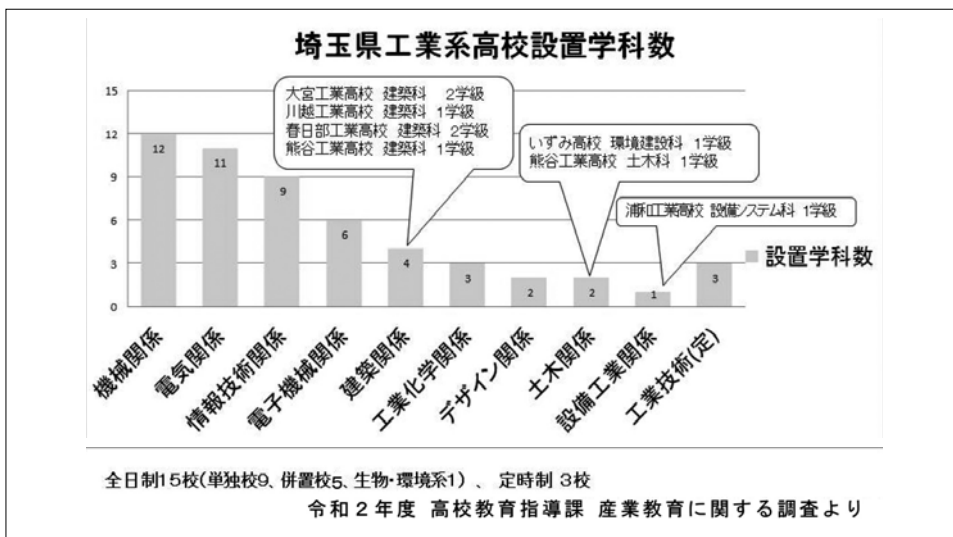


図2. 県内工業系設置学科

2 埼玉県工業高校の進路割合について

令和元年度の本県工業高校の進路割合は、就職者64.3%、進学者32.8%であり、平成30年度とほぼ同様でした。(図3)

今後は新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されます。

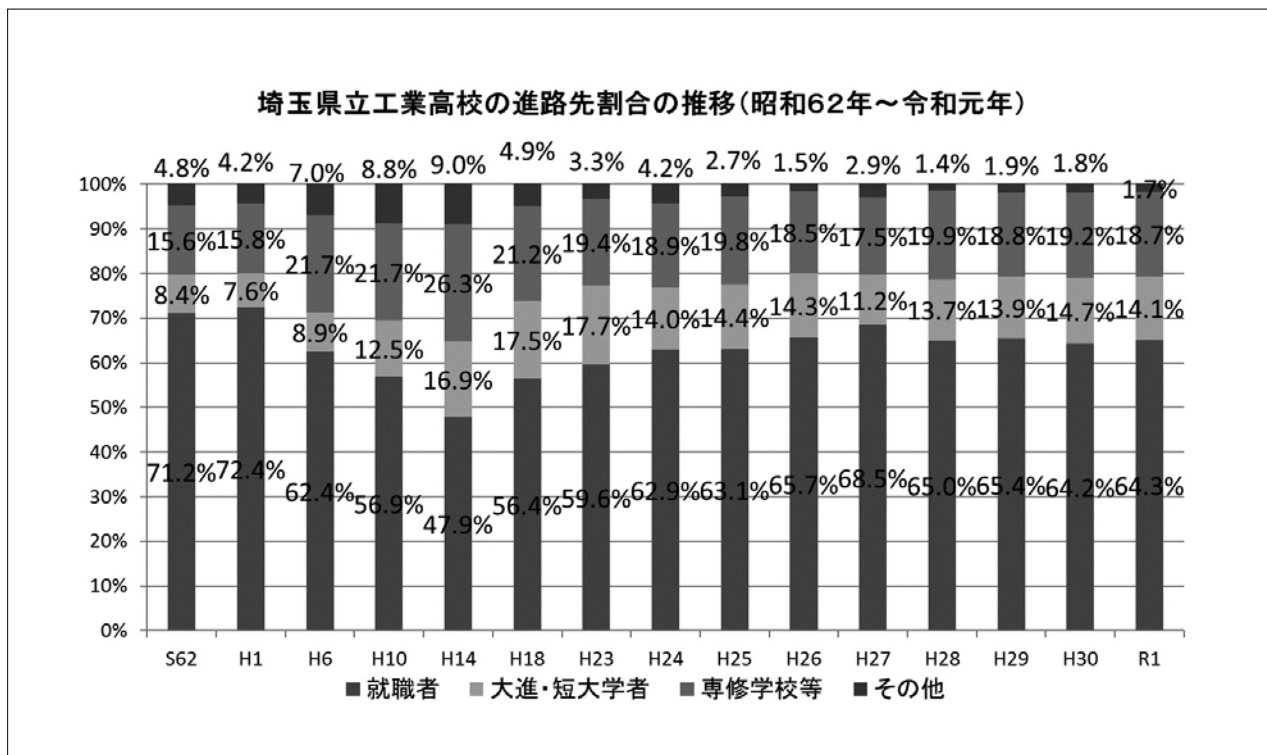


図3. 県内工業高校の進路先割合の推移

3 工業高校生の就職の動向について

本県工業高校生の就職について産業別に分類すると製造業に就く者が48.1%と高い割合を示し、次いで建設業約16.8%、サービス業約10.7%という状況です。(図4)

工業高校生の就職については、製造業が中心で、在学中に学んでいる専門性を生かした就職先を選択している傾向が強く、また、県内の企業への就職者は70.8%となっています。

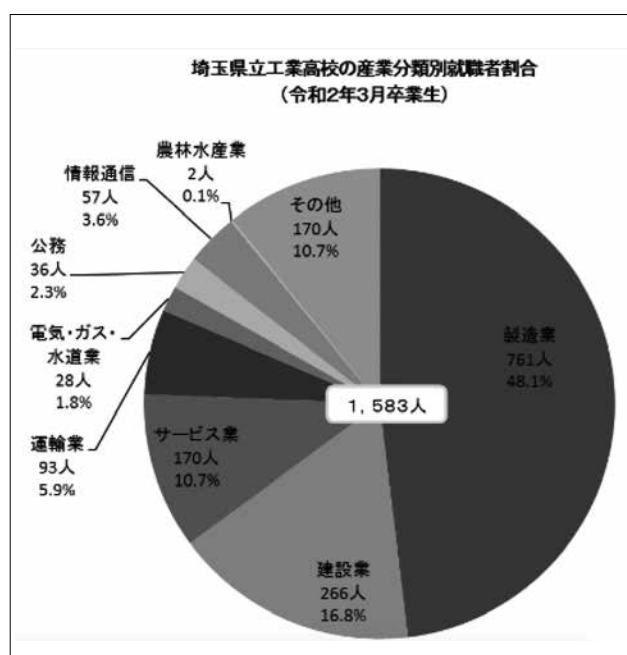


図4. 県内工業高校の産業分類別就職者割合



工事成績評点のポイントアップ

埼玉県総合技術センター

工事検査員は、設計図書や関連規定に則して、所定の出来形や品質等が確保されているかを確認し評定を行っています。さらに成績評定をアップさせるためには、現場条件にあった創意工夫を行うことが重要なポイントとなります。

今回は、昨年度の工事から、創意工夫の事例を紹介いたします。それぞれの現場条件に合わせ工夫して活用してください。

創意工夫の事例

1 施工関係① | 雨水排水能力の向上

建物の雨水は、一般的には屋根やバルコニー等に降った雨をドレンや軒樋で受け、竖樋を通り外部に排水します。もし、屋根やバルコニー等に雨水が滞留すると、外壁との取り合い部などから建物内部に雨水が浸入することがあります。適切に排水するためには、雨水が滞留しないように屋根やバルコニー等の大きさに合ったドレン等が必要になります。また、雨水滞留の要因の一つに、樹木の葉や埃などの蓄積によるドレン等の詰まりがあり、それを可視化することも必要です。さらに、屋根材の内部への雨水滞留も屋根の耐久性に大きく影響するため、事前の対策も重要です。

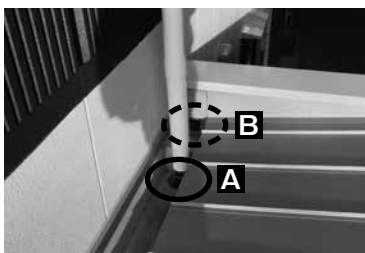
写真は、雨水の滞留を未然に防ぐため、監督員と協議し雨水排水能力を向上させた事例です。

変更前

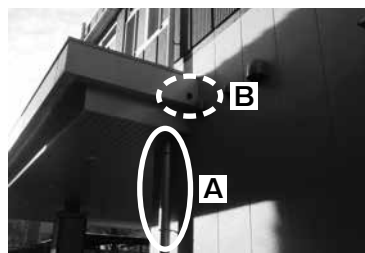
- ①ピロティ屋根の軒樋が2系統に分かれ、ドレンと竖樋がそれぞれ1本(100Φ)の設計であった。
- ②周りに樹木が沢山あり、落ち葉等が多いことが想定された。
- ③外観の意匠上、幕板をパネルで構成する設計であった。

変更後

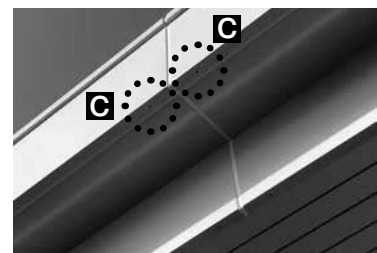
- A— ドレンと竖樋を100Φから150Φに変更(雨水のスムーズな排水)
- B- 軒樋端部から幕板パネル部を貫通させたオーバーフロー管を設置(詰まった際に内部への流水防止と可視化)
- C•• 幕板パネルのジョイント毎に水抜き穴を施工(ジョイントシーリングの劣化による雨水流入時の対策)



A ドレンの径の変更
B オーバーフロー管の設置



A 竖樋の径の変更
B オーバーフロー管の設置



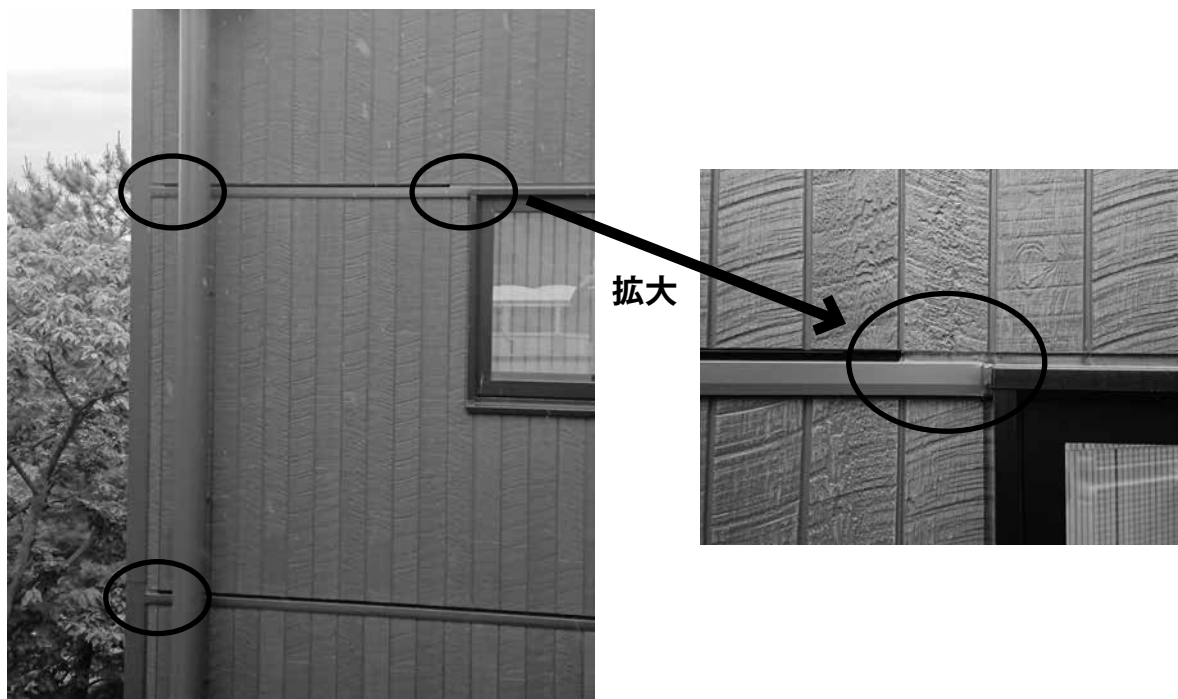
C 水抜き穴を施工

2 施工関係② | 外壁サイディングの雨水浸入対策

デザイン性や施工性などから住宅の外壁に窯業系サイディング材が多く使用されています。また、防火性や耐震性に優れたものが多いことから、公共建築物への使用も増えています。

窯業系サイディングは、透湿防水シート、通気層、塗装やシーリングにより壁（躯体）への雨水浸入を防いでいますが、他のサイディング（金属系サイディングなど）に比べると防水性能が低く、特に、水切りの端部や外部サッシ・板金との取合い部で豪雨時に雨水が浸入するケースがあります。

写真は、窯業系サイディング（縦張り）において、サイディング目地の垂直シーリングに水平シーリングを併用し、連続した対策により止水効果を高めた事例です。



垂直シーリングに水平シーリングを併用

参考（工事検査員から） | 工事写真における留意事項

工事写真は、施工が適正であることを証明し、内容が明確に確認又は判定できるものでなければなりません。以下の事例は工事写真とは言えませんので、撮影時は十分に注意してください。

- ピントが合っていない、ブレている、暗くてわからない、
- 黒板と内容が合っていない、どの材料を写しているかわからない、
- テープの目盛りがわからない、配筋ピッチが設計と違う など

また、法令等への抵触が疑われるような工事写真（高所作業員が墜落制止用器具を着けていない、産業廃棄物の搬出時の過積載、解体作業時の無散水など）がないよう注意してください。

なお、建築工事写真に必要な事項は、「埼玉県建築工事写真作成要領（制定：S59.4.1、最終改定：H31.4.1）」で定めていますので、ご確認ください。

埼玉県総合評価方式

新たに「ICT活用工事」を評価します！
令和3年7月1日以降の入札公告から適用

埼玉県総合技術センター

主な改定内容

埼玉県総合評価方式活用ガイドラインがVer.16に改定され、令和3年7月1日以降の入札公告から適用になっています。今回の主な改定内容は、働き方改革をさらに推進させるため、「ICT活用工事の評価項目の新設」と「4週8休を確保した実績の評価」を設定しました。

また、総合評価方式の特定課題パッケージで「品質確保型を廃止して新たに施策チャレンジ型を設定」、評価項目として活用事例が少ない「手持ち工事量の評価項目を廃止」といった内容です。

新たな評価項目「ICT活用工事の実施」

シ(ア) ICT活用工事の実施

評価項目	評価基準	配点 ^{※3}	得点 ^{※3}	確認方法P47
ICT活用工事の実施 ^{※2}	ICT施工・3次元化等を全面的に活用する(施工プロセス ^{※1} で①～⑤の全て実施する場合)	2.0 [3.0]	/2.0 [3.0]	①
	ICT施工・3次元化等を一部活用する(施工プロセス ^{※1} で①、②、④、⑤を実施する場合)	1.0 [2.0]		
	ICT施工・3次元化等を一部活用する(施工プロセス ^{※1} で②、④、⑤を実施する場合)	0.5 [1.0]		
	上記に該当しない。	0 [0]		

※1 当該工事において、ICT施工技術を活用する場合に評価する。評価の対象は、埼玉県県土整備部が定めるICT活用工事の試行要領に基づき、以下の施工プロセスでICT施工技術を活用する工事とする。

【施工プロセス】

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建機機械による施工
- ④ 3次元出来高管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

※2 埼玉県県土整備部が定めるICT活用工事の試行要領における「受注者希望型」に適用する。

※3 []内の点数は、施策チャレンジ型に適用する。

※ 埼玉県総合評価方式活用ガイドライン Ver.16 P45 抜粋

トピック

入札参加者から提出される自己採点申請書などの提出書類に間違い等があった場合、その間違い等の情報を発注者から入札参加者に提供するための試行を始めました。これによって今後の間違い等の件数を減少させ、落札者決定までに長期間を要するという問題を改善させるものと考えています。

講習会案内

団体名	講習名	講習予定日	会場
埼玉県電気工事工業組合 048-663-0242	丸のこ等取り扱い作業従事者特別教育	8月3日	埼玉電気会館
	現場代理人管理技術基礎	8月5・6日	埼玉電気会館
	第1種電気工事士学科受験	8月17・18・19・20日	埼玉電気会館
	第2種電気工事士学科受験	第2回：8月24・25・26日	埼玉電気会館
	高圧・特別高圧電気取扱者特別教育(学科)	第2回：9月1・2日	埼玉電気会館
	1級電気工事施工管理技術士受験(実地)	9月16・22・30日	埼玉電気会館
	小型車両系建設機械(3t未満)運転	9月27・28日	(株)PEO 建機教習センター 埼玉教習所(草加市)
	高圧ケーブル技能認定	第1回：10月5・6日 第2回：10月7・8日	埼玉電気会館
	2級電気工事施工管理技術士受験	10月12・20・28・11月9日	埼玉電気会館
	2級電気通信施工管理技術士受験(学科)	第2回：10月15・18・22日	埼玉電気会館
一般社団法人 埼玉県電業協会 048-864-0385	第一種電気工事士試験(筆記)受験準備講習会	8月24・31・9月7・14・21日	埼玉建産連研修センター 103
	1級電気工事施工管理技術検定試験(二次)受験準備講習会	9月3・10・24・10月1日	埼玉建産連研修センター 103
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	9月9・10・24日	埼玉建産連研修センター 101
	2級電気通信工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10月5・12・19日	埼玉建産連研修センター 103
	2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10月8・15・22・29・11月5日	埼玉建産連研修センター 103
	低圧電気取扱者特別教育	10月13・14日	埼玉建産連研修センター 202
	登録電気工事基幹技能者認定講習	10月30・31日	埼玉建産連研修センター 200
埼玉労働局長登録教習機関 建設業労働災害防止協会 埼玉県支部 048-862-2542	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第255号)	8月24～26日、 10月27～29日	埼玉県県民活動総合センター
	足場の組立て等作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第1号)	8月19～20日	埼玉県県民活動総合センター
	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第2号)	8月4～5日	埼玉県県民活動総合センター
	木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第132号)	10月13～14日	埼玉県県民活動総合センター
	職長・安全衛生責任者教育	9月8～9日	埼玉建産連研修センター
	足場の組立て等特別教育	10月21日	埼玉建産連研修センター
	自由研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育	8月12日	埼玉建産連研修センター
	施工管理者等のための足場点検実務者研修 (CPDS 認定講習)	8月10日	埼玉建産連研修センター
	建設工事統括安全衛生管理講習(CPDS 認定講習)	10月5日	埼玉建産連研修センター
	足場の組立等作業主任者能力向上教育	9月16日	埼玉建産連研修センター
	丸のこ等取り扱い作業従事者教育	9月22日	埼玉建産連研修センター

※予期せぬ理由により日程の変更、または中止になる場合があります。
詳細は各団体へお問い合わせください。

県内経済の動き

公共工事前払金保証統計から見た 県内の公共工事等の動き (令和2年度)

東日本建設業保証株式会社埼玉支店

前払金の状況

令和2年度の埼玉県内における前払金保証取扱高は、件数が7,795件(前年度比-1.6%)、請負金額が4,108億円(前年度比+3.5%)となりました。

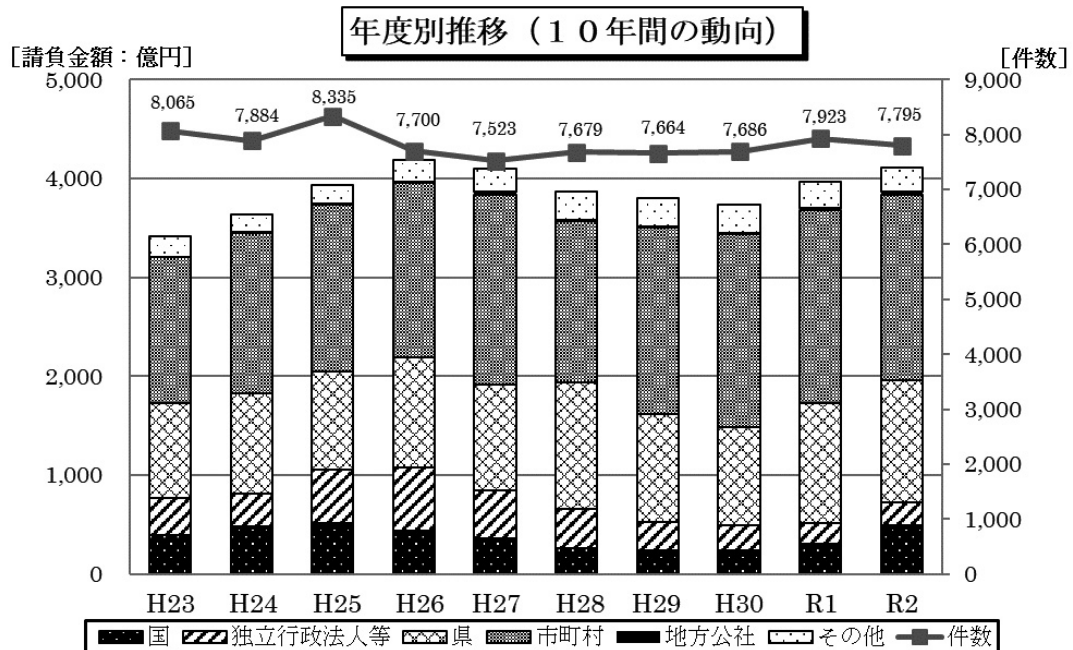
請負金額を発注者別にみますと、「市町村」、

「その他」が減少したものの、「国」、「独立行政法人等」、「都県」、「地方公社」は前年度比で増加となりました。

また、請負金額の過去10年間の年度別推移をみますと、5期振りに4,000億円台を超え、平成26年度に次ぐ金額となりました。

(金額単位:百万円)

発注者	年度	令和2年度		令和元年度		対前年度増減率(%)	
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国		286	49,530	233	30,103	22.7	64.5
独立行政法人等		136	22,798	179	21,261	-24.0	7.2
都県	埼玉県	2,687	107,981	2,609	106,714	3.0	1.2
	埼玉以外の都県	47	15,445	37	14,781	27.0	4.5
市町村		4,272	187,577	4,474	194,722	-4.5	-3.7
地方公社		48	4,008	44	3,245	9.1	23.5
その他		319	23,534	347	26,034	-8.1	-9.6
合計		7,795	410,876	7,923	396,863	-1.6	3.5



中間前払金の状況

国土交通省、農林水産省をはじめとする国の機関や地方公共団体などでは、前払金に加えて、工事代金の2割を前払いする制度(中間

前金払制度)が導入されております。

令和2年度の埼玉県内における中間前払金保証取扱高は、件数が275件となり、前年度比+3.0%となりました。

(金額単位:百万円)

発注者	年度	令和2年度		令和元年度		対前年度増減率(%)	
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国		10	2,110	6	1,119	66.7	88.5
独立行政法人等		6	2,229	3	1,030	100.0	116.3
都 県	埼玉県	99	8,658	83	8,431	19.3	2.7
	埼玉以外の都県	1	91	0	0	—	—
市町村		148	18,613	166	25,432	-10.8	-26.8
地方公社		—	—	—	—	—	—
その他		11	1,056	9	1,674	22.2	-36.9
合計		275	32,760	267	37,688	3.0	-13.1

中間前金払制度の導入状況

県内市町村においては、改正品確法に基づき発注者共通の指針として定められた「発注関係事務の運用に関する指針」等の内容も踏まえ、

順次導入が進められているところです。

令和3年度より新たに神川町が導入し、県内導入市町村数は38市4町、導入率は66.7%となりました。



お問い合わせ先

東日本建設業保証株式会社埼玉支店

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 4-3-15 K・Sビル5階

TEL 048-861-8885

FAX 0120-027-336

URL <https://www.ejcs.co.jp/>

（株）建設経営サービス（略称：KKS）による
KKS保証ファクタリングのご案内
 ～国土交通省 下請債権保全支援事業～

ー・コロナ禍だからこそ債権保全策を見直しませんか??ー

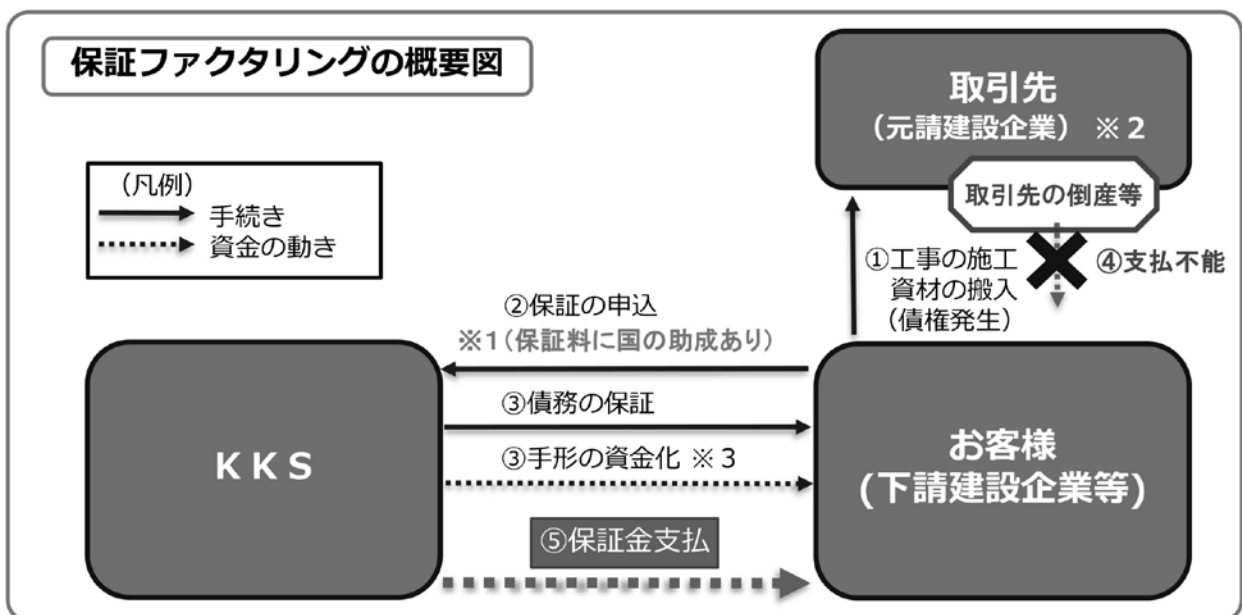
◎こんなお客様にオススメです！！

- ☑ 過去に焦付きで痛い目を見た・・・
（仕事した分は確実に回収したい!）
- ☑ 新しい取引先との仕事は不安だ・・・
- ☑ 取引先に知られることなく保全したい・・・

◎ KKS保証ファクタリングのしくみ



KKS保証ファクタリングは、国土交通省の「下請債権保全支援事業」に基づき、下請建設企業・資材納入企業が元請建設企業に対して有している債権の支払いを保証するもので、元請建設企業の倒産等により当該債権の支払いを受けることができなかつた場合に、保証限度額を上限にKKSが保証金を支払います!



※1 保証料率の**3分の1**（年率1.5%を上限）が**国の助成**により減免されます。

※2 取引先（建設企業）は、**過去2年間に公共工事の受注実績がある企業**、または**経営事項審査を受審している企業**であることが要件となります。

※3 保証する手形・電子記録債権（でんさい）の**資金化も可能**です。

◎ K K S 保証ファクタリングの種類

K K S 保証ファクタリングには、売掛金・手形などの個々の債権毎に保証をかけるタイプの「個別保証」と、下請契約締結時から、工事毎にかけるタイプの「枠保証」があります。

今回はニーズの高い「枠保証」についてご案内します！！



KKS保証ファクタリング枠保証の特長

1

工事毎に債権を保全

一つの工事毎に枠（保証限度額）を設定します。債権が回収できない場合は、保証期間内において、枠内で債権を保証します。

2

着工・納品前に保証開始

契約後、ただちに保証を開始できます。保証のないまま着工、納品する心配から解放されます。

3

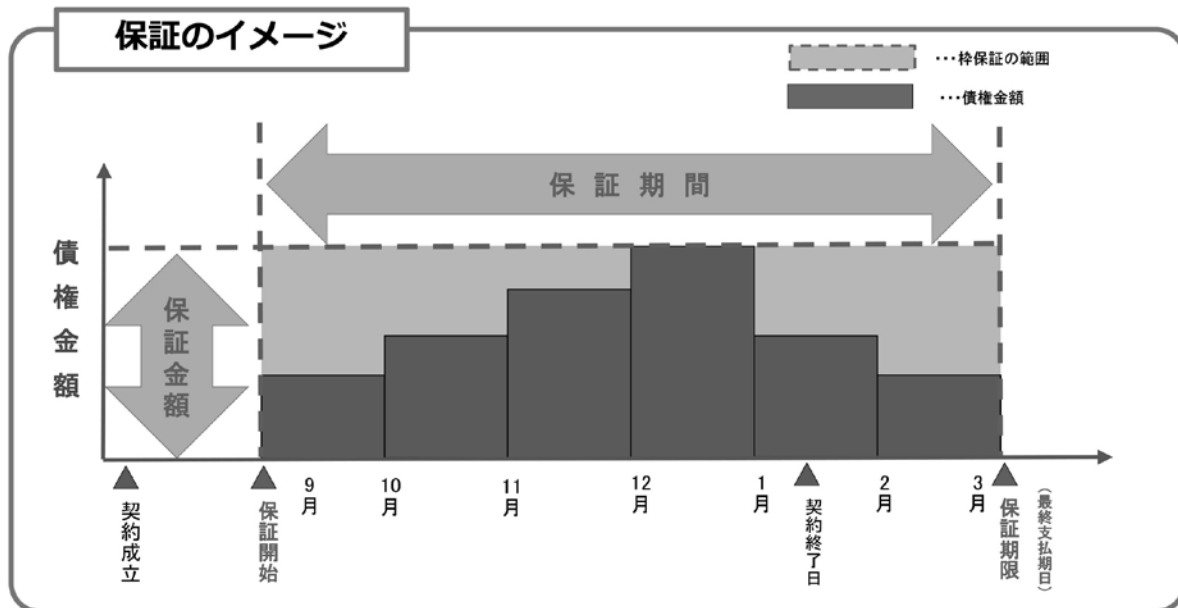
助成による保証料の減免

保証料率の3分の1（年率1.5%を上限）が、国からの助成金により減免されます。

4

長期にわたり枠を確保

必要に応じて最大、着工から最終支払期日まで、保証枠の確保が可能となります。



債権保全に興味ある方はお気軽に下記までお問い合わせください！

【制度に関するお問い合わせ先】

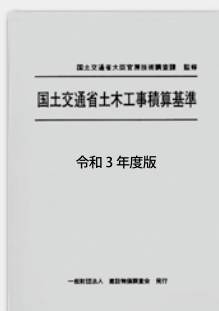
東日本建設業保証(株)埼玉支店
住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂
4-3-15 K・Sビル5F
電話：048-861-8885

【申込に関するお問い合わせ先】

(株)建設経営サービス首都圏営業部
住所：東京都中央区築地5-5-12
電話：03-3545-8523

令和3年度版 国土交通省土木工事積算基準

令和3年度 国土交通省土木工事積算基準の改定概要



※イメージ

改定概要

- ▶ 働き方改革に取り組める環境整備
- ▶ i-Constructionの更なる拡大
- ▶ 円滑な施工体制の確保

標準歩掛

- 日当たり施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種 **8工種**

施工パッケージ

- 新規制定 **1工種**
- 日当たり施工量、労務、資機材等の改定 **14工種**



デジタルブック (電子媒体)

ユーザー登録は3名まで可能です

2021年5月公開 11,550円(税込)

キーワード検索機能、印刷機能などを備えたデジタルブックであなたの積算業務効率化をお手伝いします！ 在宅勤務での利用にも最適。

オンラインショップ

建設物価 BookStore のみで販売



書籍 (紙媒体)

※デジタルブックは付属しません

2021年5月発行 12,100円(税込)

紙の本ならではの網羅性で、関連項目ももれなく確認。正確な積算の必携書。

2020年度在宅勤務支援の一環で、無償公開していた購入者特典のデジタルブックを、リニューアルしてそれぞれに販売します。



一般財団法人 **建設物価調査会**
(株)建設物価サービス 販売事業部 (販売業務代行)



電話でのお問い合わせ

03-3663-8711



パソコンからのお申込み

建設物価 Book Store

検索

・ 会員だより ・

令和3年度通常総代会を開催

埼玉県電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)は、5月25日(火)に、さいたま市北区の埼玉電気会館で令和3年度通常総代会を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、役員及び総代2名が出席、他の総代は書面で議決権を行使しての開催となりました。

議案審議では、令和2年度事業報告と決算報告や令和3年度事業計画案及び収支予算案などを審議。更に、理事及び監事選任の議案が審議され、賛成多数で可決・承認されました。また、総代会後の理事会において、沼尻理事長の再任が承認されました。

令和3年度の主な事業計画は、2021年の理事長方針である「逆境のときこそ力を尽くし新たな挑戦」を具現化するため、I「安定した組合運営」として、組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの具現、予算の効率的な執行及び自己資本比率50%台の維持等、II「電気保安及び安全・安心の確保」として、一般用電気工作物調査業務の調査品質の向上等、III「電気工事品質及び技術の向上」として、認定職業訓練校(S・E・Cセンター)の運営充実等、IV「組合及び組合員の地位向上」として、支部及び青年部会の活動支援、新規組合員の加入促進等、V「行事の実施」として電設工業祭の開催等38項目が承認されました。



連 合 会 日 誌

令和3年

- 3月29日(月) 埼玉県型枠工事業協会通常総会
(書面決議)
- 4月14日(水) (社)日本塗装工業会埼玉県支部
通常総会
- 4月27日(火) 埼玉県地質調査業協会通常総会
(書面決議)
広報委員会
- 5月13日(木) 監事監査
- 5月14日(金) 埼玉アスファルト合材協会通常総会
- 5月18日(火) (社)埼玉県建設業協会通常総会
(社)埼玉県測量設計業協会通常総会
(書面決議)
- 5月21日(金) 理事会
- 5月25日(火) (社)埼玉県造園業協会通常総会
埼玉県電気工事工業組合通常総代会
- 5月26日(水) 建設業労働災害防止協会埼玉県支部
通常総会(書面決議)
- 5月28日(金) (社)埼玉県電業協会通常総会
(社)埼玉県設備設計事務所協会
通常総会(書面決議)
(社)さいたま市建設業協会通常総会
- 6月 1日(火) 埼玉県建設発生土リサイクル協会
通常総会
- 6月14日(月) 2021年度通常総会・臨時理事会
- 6月15日(火) (社)埼玉建築設計監理協会通常総会
- 6月16日(水) (社)建築士会通常総会
- 6月18日(金) 埼玉県下水道施設維持管理協会
通常総会(書面決議)
- 6月21日(月) (社)埼玉県建築安全協会通常総会
- 6月29日(火) (社)全国建産連通常総会・
臨時理事会

総会の結果について

構成団体における総会開催結果は以下の通りです。

一般社団法人埼玉県建設業協会

開催日	5月18日 13時30分から
場所	ロイヤルパインズホテル浦和
役員	改選
会長	伊田 登喜三郎
副会長	小川 貢三郎・武井 美親・中原 誠 中里 健寿・島村 健・齋藤 公志郎
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の担い手確保・育成対策の推進 ・経営の安定化対策の推進 ・担い手3法の徹底と入札・契約制度改革への対応 ・働き方改革への対応 ・生産性及び技術力の向上

一般社団法人埼玉県電業協会

開催日	5月28日 14時00分から
場所	ホテルブリランテ武蔵野
役員	非改選
会長	岡村 一巳
副会長	山口 裕・古小高 収 川合 昭・積田 優
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援・技術育成事業 ・災害対策・環境保全事業 ・調査研究事業 ・人材育成・企業合理化事業 ・技術向上・安全対策事業

一般社団法人埼玉県造園業協会

開催日	5月25日 15時00分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	非改選
会長	渡邊 進
副会長	阪上 清之介・西山 敏治 三枝 和男
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業の推進及び緑化意識の普及啓発事業 ・造園技術の維持向上などのための研修事業 ・関係団体との連携及び表彰推薦事業 ・受託事業

埼玉県電気工事工業組合

開催日	5月25日 14時30分から
場所	埼玉電気会館5階大会議室
役員	改選
理事長	沼尻 芳治
副理事長	加藤 宗一・藤田 征夫 佐藤 隆行・羽鳥 隆行
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの具現 ・予算の効率的な執行及び自己資本比率50%台の維持 ・電気事故防止の推進、電気保安及び安全・安心の確保 ・認定職業訓練校の運営充実等、電気工事事質及び技術の向上

一般社団法人日本塗装工業会埼玉県支部

開催日	4月14日 14時00分から
場所	(一社)日本塗装工業会埼玉県支部
役員	非改選
支部長	松尾 康司
副支部長	遊馬 久治・西浦 建貴 佐藤 尚人
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本部の長期方針・重点施策・事業計画に準拠した事業の推進 ・定時総会・支部役員会の定時開催 ・メンテナンスキャンペーンの推進 ・ボランティア活動 ・本部、関東ブロックの諸会議、委員会事業への積極的参加

埼玉県型枠工事業協会

開催日	3月29日
場所	書面開催
役員	非改選
会長	白戸 修
副会長	小山 義一・堀江 弘道
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議「七日会」の開催 ・技能検定1、2級事前講習会 ・技術革新及び新資材導入の調査研究 ・登録型枠基幹技能者、特定技能外国人(特定会員)受け入管理

一般社団法人埼玉建築士会

開催日	6月16日 15時00分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	非改選
会長	江口 満志
副会長	丸岡 庸一郎・佐藤 彰宏
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・建築士登録・閲覧事業 ・建築士制度普及啓発事業 ・調査研究事業（委員会・見学会他） ・知識及び技術向上の為の講習会事業 ・1級、2級及び木造建築士試験実施事業

一般社団法人埼玉建築設計監理協会

開催日	6月15日 13時30分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	非改選
会長	田中 芳樹
副会長	神田 廣行・高梨 智浩 松崎 武志
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成事業 ・災害対策推進事業 ・高齢者福祉対策事業 ・環境対策事業 ・情報発信事業

一般社団法人埼玉県測量設計業協会

開催日	5月18日 10時00分から
場所	書面開催
役員	非改選
会長	細沼 英一
副会長	及川 修・笠原 俊也
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度県予算に対する要望及び意見交換会（要望8月、意見交換会9月上旬） ・「測量の日」記念行事（11月予定） ・「測量&設計」広報誌の発刊（2022年1月下旬） ・技術研修会

建設業労働災害防止協会埼玉県支部

開催日	5月26日 14時30分から
場所	書面開催
役員	改選
支部長	島村 健
副支部長	関根 勇治・斉藤 和彦
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業労働災害防止規程の周知（労働災害防止団体法により規程） ・安全指導者による現場指導 ・労働安全衛生法に基づき法令で定める各種講習の実施 ・安全衛生教育用図書、安全用品の頒布 ・会員事業場に対し本部・支部に於いて各種の広報、啓発活動の実施

埼玉県下水道施設維持管理協会

開催日	6月18日
場所	書面開催
役員	非改選
会長	小山 昇
副会長	大村 相基
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議 ・通常総会 ・埼玉県下水道局等要望活動

一般財団法人埼玉県建築安全協会

開催日	6月21日 15時00分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	改選
理事長	桑子 喬
副理事長	伊田 登喜三郎・江口 満志 岡村 一巳・松原 和也
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定期報告制度の周知、技術向上に関する事業 ・防災意識向上に関する事業 ・定期調査員及び検査員の把握及び情報の発信に関する事業 ・特定行政庁等との委託契約に基づく事業

埼玉県地質調査業協会

開催日	4月27日
場所	書面開催
役員	改選
会長	越智 勝行
副会長	関口 彰伸
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の多角的研修を進め、会員の技術能力の増進を図る ・官公庁に対し地質調査業者（特に会員）の育成を要望する ・地質調査の確保、拡大のための陳情活動を展開する ・地質調査の中立的視点から社会資本のtotalcost 縮減のため貢献する

一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会

開催日	5月28日
場所	書面開催
役員	非改選
会長	金子 和巳
副会長	栗木 薫・藤原 克彦 小野 正幸
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務に関する調査研究 ・設備設計事務所の秩序保持の施策実施 ・設備設計に関する省エネ、防災等の技術研究及び県民への普及啓発、設備設計技術講習会への講師派遣 ・関係官庁及び内外関係団体との連携 ・担い手確保・育成

埼玉アスファルト合材協会

開催日	5月14日 11時00分から
場所	ロイヤルパインズホテル浦和
役員	非改選
理事長	島村 健
副理事長	中原 誠・関根 信次
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト混合物に関する製造技術・施工技術の調査研究と技術見学会開催 ・アスファルト合材に関する埼玉県県土整備部との連絡会議（第40回）開催 ・全体会・勉強会開催（会員の資質向上 - 技術の研鑽 他） ・南関東アスファルト合材協会連絡協議会の一員として広域的に活動する ・委員会活動に参加し専門知識、技術水準の向上に努める

一般社団法人さいたま市建設業協会

開催日	5月28日 10時30分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	非改選
会長	斎藤 恵介
副会長	片山 金次郎・高橋 正雄 首藤 和彦・松永 大祐
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市の諸事業に対し積極的に協力する ・会員相互の技術の向上に努める ・協会員の資質向上とイメージアップを図る ・安全と環境保全に対する意識啓発 ・各種委員会活動の充実（8委員会）

NPO 法人埼玉県建設発生土リサイクル協会

開催日	6月1日 15時00分から
場所	埼玉建産連研修センター
役員	非改選
理事長	戸高 康之
副理事長	小沢 正康・佐藤 孝治
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会構築事業 ・改良土の研究、開発、普及促進事業 ・自然環境破壊防止活動事業 ・建設発生土受入先の情報提供事業



(一社) 埼玉建築設計監理協会主催第21回卒業設計コンクールに想う

コロナ禍、緊急事態宣言の発令の中、去年は断念せざるを得ませんでした。今年は感染対策をし、自宅などからオンラインにて審査員のいる会場のスクリーンに作品を発表し、卒業設計コンクールを実施しました。学生達のすでにDX時代を先取りした作品やプレゼンテーション技術に、若者の頼もしさを感じました。

お陰様で21回目を数えるコンクールも埼玉県知事賞ならびに埼玉建築設計監理協会賞なども無事に選出されました。参加した学生諸君にとって、オンラインではあるけれども青春の一ペ

ージとして良い経験をしたと思います。

建築業界も設計から施工まで情報技術を多用しなければならぬ状況になりつつあります。DX時代の建築をさきがけ、今後の活躍を期待するところです。

願わくば、参加した学生達が一人でも多く、発展の可能性が高い埼玉県の業界に就職し、活躍してもらえないかと、コンクールを終えてそう想わざるを得なかったのは、私だけではないと思います。

広報副委員長

建産連NEWS

KENSANREN NEWS

建産連NEWS 第169号

令和3年7月27日発行

発行 一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会

企画・編集 広報委員会

〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋4-1-7

TEL 048-866-4301

FAX 048-866-9111

URL <http://www.sfcc.or.jp/>

一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 会員名簿 (順不同)

〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 建産連会館 1階
 一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会
 会長 星野 博之

電話 048-866-4301
 FAX 048-866-9111
 URL <http://www.sfcc.or.jp/>

(2021年 6月14日現在)

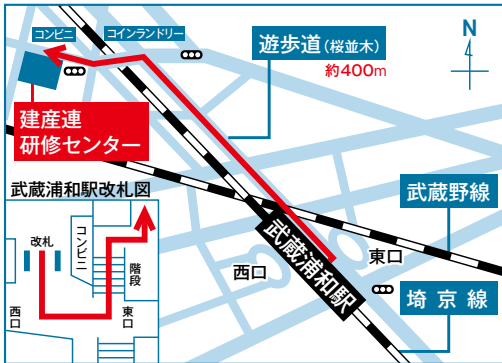
構成団体名	代表者	〒	所在地	電話番号	FAX
一般社団法人 埼玉県建設業協会	会長 伊田登喜三郎	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(861)5111	048(861)5376
一般社団法人 埼玉県電業協会	会長 岡村 一巳	〃	〃	048(864)0385	048(864)0327
一般社団法人 埼玉県造園業協会	会長 渡邊 進	〃	〃	048(864)6921	048(861)9641
東日本建設業保証株式会社埼玉支店	支店長 松井 博孝	330-0063	さいたま市浦和高砂 4-3-15 K・Sビル5階	048(861)8885	0120(027)336
埼玉県電気工事工業組合	理事長 沼尻 芳治	331-0813	さいたま市北区植竹町 1-820-6 埼玉電気会館 2階	048(663)0242	048(663)0298
一般社団法人 埼玉県空調衛生設備協会	会長 飯沼 章	338-0002	さいたま市中央区下落合 4-8-10	048(855)4111	048(853)0676
一般社団法人 日本塗装工業会埼玉県支部	支部長 松尾 康司	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(866)4381	048(866)4382
埼玉県型枠工事業協会	会長 白戸 修	〃	〃	048(862)9258	048(862)9275
一般社団法人 埼玉建築士会	会長 江口 満志	〃	〃	048(861)8221	048(864)8706
一般社団法人 埼玉県建築士事務所協会	会長 栗田 政明	〃	〃	048(864)9313	048(864)9381
一般社団法人 埼玉建築設計監理協会	会長 田中 芳樹	〃	〃	048(861)2304	048(863)2495
一般社団法人 埼玉県測量設計業協会	会長 細沼 英一	〃	〃	048(866)1773	048(864)3055
建設業労働災害防止協会埼玉県支部	支部長 島村 健	〃	〃	048(862)2542	048(862)9764
埼玉県コンクリート製品協同組合	理事長 石綿 弘	362-0014	上尾市本町 1-5-20	048(773)8171	048(773)8175
埼玉県下水道施設維持管理協会	会長 小山 昇	330-0061	さいたま市浦和区常盤 9-5-8 トキワビル 武蔵野環境整備(株) 内	048(831)9667	048(822)7510
一般財団法人 埼玉県建築安全協会	理事長 桑子 喬	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(865)0391	048(845)6720
埼玉県建設業健康保険組合	理事長 星野 博之	〃	〃	048(864)9731	048(838)9490
埼玉県地質調査業協会	会長 越智 勝行	〃	〃	048(862)8221	048(866)6067
埼玉県生コンクリート工業組合	理事長 堀川 和夫	336-0017	さいたま市南区南浦和 3-17-5	048(882)7993	048(883)3500
一般社団法人 埼玉県設備設計事務所協会	会長 金子 和巳	330-0063	さいたま市浦和高砂 3-10-4	048(864)1429	048(866)5385
埼玉アスファルト合材協会	理事長 島村 健	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(838)5636	048(816)9415

賛助会員

一般社団法人 さいたま市建設業協会	会長 斎藤 恵介	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(863)3203	048(863)1794
特定非営利活動法人 埼玉県建設発生土リサイクル協会	理事長 戸高 康之	336-0031	さいたま市南区鹿手袋 4-1-7	048(839)2900	048(839)2901

研修・会議にご利用ください

埼玉建産連研修センター



武蔵浦和駅東口から
花と緑の散歩道
(遊歩道)を歩き、
約10分で到着します。

所在地 さいたま市南区鹿手袋4-1-7

電話 048-861-4311

H P <http://www.sfcc.or.jp/>

MAIL k-center@sfcc.or.jp

開館時間 午前9時~午後5時(月~金)

※どなたでもご利用いただけます

埼玉建産連研修センター簡易料金表

会議室名称	料金区分		午前	午後	全日
	最大収容人員		9:00~12:00	13:00~17:00	9:00~17:00
3階 大ホール	机席	3人掛 270人	42,500円	47,500円	64,000円
		(2人掛 180人)			
2階	200会議室	机席 3人掛 153人	28,500円	35,500円	46,000円
	201会議室	机席 3人掛 99人	16,000円	18,000円	23,500円
	202会議室	机席 3人掛 45人	8,500円	9,500円	12,500円
	203会議室	コの字 3人掛 15人	4,000円	4,500円	6,000円
1階	101会議室	机席 3人掛 104人	18,000円	20,000円	26,000円
	102会議室	コの字 3人掛 15人	3,500円	4,000円	5,500円
	103会議室	机席 3人掛 61人	12,000円	13,000円	17,500円

『建産連ニュース』データ版ご利用の際のご注意

建産連ニュースのデータ版については、以下の事項をご了解の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。また、当ファイルを閲覧・ダウンロードされる際には、この条項にご了解いただいたものとみなします。

(1) 著作権について

『建産連ニュース』の著作権は、一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会に帰属します。無断での転用・転載を禁じます。

(2) 免責事項

『建産連ニュース』内掲載の記事・広告は、発行当時のものであり、現在の状況とは差違が生じている部分がございますので、ご注意ください。

なお、記載内容に関連し、ご利用者の故意・錯誤により生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いかねます。

(3) 配布について

この『建産連ニュース』データ版は、無料で配布しておりますが、著作権者の許可無くしての二次利用・再配布を禁止いたします。

なお、本ページは著作者情報となります。このページを削除することを禁じます。

(4) お問い合わせ

その他、記事内容・ご利用方法について、疑問・質問等がございましたら、下記の当連合会事務局までお問い合わせください。

○お問い合わせ

一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会
事務局

電話 048-866-4301

E-mail somu@sfcc.or.jp

URL <http://www.sfcc.or.jp/>

2012年4月